私とマイデル

メモ：コンピューターを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意：指示に従わない場合、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示しています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

このテキストで使用されている商標は次の通りです。Dell™、DELLのロゴ、および Inspiron™ は、Dell Inc. の商標です。Intel®、Centrino®、Core™、および Atom™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標または商標です。Microsoft®、Windows®、および Windows スタートボタンロゴは、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、許可を受けて Dell が使用しています。Blu-ray Disc™ は、Blu-ray Disc Association (BDA) が所有する商標で、ディスクおよびプレーヤーで使用するライセンスを取得しています。本書では、商標および商標名の権利を主張する会社またはその製品を参照するため、上記に記載する以外の商標および商標名が使用される場合があります。これらの商標および会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

2013 – 01　　　Rev. A00

目次

Windows 8 の新機能 13
チャームサイドバー 15
Windows 8 へのサインイン 16
Windows 8 アプリケーションを閉じる 17
コンピューターの電源を切る – Windows 8. 17
コンピューターについて 19
電源アダプター 21
バッテリー 22
ノートパソコンのバッテリー 22
バッテリー電源を節約する 22
コイン型電池. 23
バッテリーパフォーマンスを向上する 23
タッチパッド 24
タッチパッドについて 24
タッチパッドジェスチャ 24
スクロール 24
ズーム. 26
回転. 27
フリック 28
お気に入り 28
デスクトップ 28

ディスプレイ 29
3D ディスプレイ 29
ワイヤレスディスプレイ 29
タッチスクリーンディスプレイ 30
タッチスクリーンジェスチャ 30
ズーム 30
ドウェル 31
フリック 31
スクロール 31
回転 32
キーボード 33
バックライト付きキーボード 34
キーボードの接続タイプ 35
サービスタグおよびエクスプレスサービスコードを確認する . . . 36
コンピューターのラベルを確認する 36
デルのオンラインシステムプロファイラーを使用する 36
ストレージ 36
ストレージデバイスについて 36
内蔵ストレージデバイス 37
ハードドライブ 37
半導体ドライブ 37
リムーバブルストレージデバイス 37
オプティカルディスク 38
メモリカード 38
メモリモジュール 39
システム基板 40
プロセッサー 42
コンピューターファン 43

ヒートシンク 43
サーマルグリース 44
ビデオカード 44
TV チューナー 45
スピーカー 46
Web カメラ 46
Web カメラを有効にする 47
Dell Web カメラマネージャー 47
ExpressCard 48
通信デバイス 49
コンピューターをセットアップする 53
ノートパソコンをセットアップする 55
デスクトップをセットアップする 57
インターネット 59
有線インターネット接続をセットアップする 59
ワイヤレスインターネット接続をセットアップする 60
ディスプレイ 61
ディスプレイをセットアップする 61
3D ディスプレイをセットアップする 62
ワイヤレスディスプレイをセットアップする 64
DVI (Digital Visual Interface) コネクターケーブル 65
オーディオ 66
5.1 オーディオをセットアップする 66
7.1 オーディオをセットアップする 68
プリンターをセットアップする 70
Web カメラをセットアップする 71
USB ワイヤレスアダプターをインストールする 71

コンピューターの使い方 73

バッテリー 75

ノートパソコンのバッテリーを充電する 75

バッテリーパフォーマンスを向上する 75

Dell デスクトップモード 76

Dell デスクトップモード 76

キーボード 77

一般的なキーボードショートカット 77

キーボードの入力言語を変更する 79

ノートブックコンピューターでのテンキーパッドの使い方 80

タッチパッド 81

タッチパッドを使用する 81

タッチパッドジェスチャ 81

スクロール 81

ズーム 83

回転 84

フリック 84

お気に入り 84

デスクトップ 84

タッチスクリーン 85

タッチスクリーンディスプレイを使用する 85

タッチスクリーンディスプレイを使用する 85

ポートとコネクター 87

オーディオコネクター 89

オーディオコネクターのタイプ 89

5.1 オーディオ 90

7.1 オーディオ 90

USB 90
USB コネクター 90
USB 規格 91
DVI (Digital Visual Interface) 92
DisplayPort/ミニ DisplayPort. 92
DisplayPort のメリット. 93
HDMI 93
HDMI のメリット 93
eSATA コネクター 94
S/PDIF 94
IEEE 1394 94
特長 94
IEEE 1394 ケーブルのタイプ 95
USB と IEEE 1394 を比較する 96
ネットワーク 97
ネットワーク. 99
ローカルエリアネットワーク (LAN) .99
ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN). 100
ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WWAN) 100
ワイヤレスパーソナルエリアネットワーク (WPAN). 100
WiMAX (worldwide interoperability for microwave access) 101
ネットワークをセットアップする 101
有線ネットワークをセットアップする 101
ワイヤレスネットワークをセットアップする 102
インターネット接続のセットアップ 102

LAN（ローカルエリアネットワーク）をセットアップする . . . 103
有線インターネット接続をセットアップする 103
WLAN をセットアップするには： 104
WLAN（ワイヤレスローカルエリアネットワーク）をセット
アップする 104
WLAN をセットアップするには： 104
お使いのワイヤレスネットワークカードの確認 105
有線インターネット接続をセットアップする 105
ワイヤレスインターネット接続をセットアップする 107

ソフトウェアとアプリケーション 109

Computrace 111
Computrace について 111
Computrace を有効にする 112
Computrace のヘルプを表示する 112
My Dell Downloads 113
マイデルサポートセンター 113
ダウンロードまたはデルサポートセンターのアップグレード . . . 113
PC Checkup ユーティリティ 114
ソリューションステーション 114
ソリューションステーションのサービス内容 115
Dell QuickSet 116
インストール 116
NVIDIA 3DTV Play 116
3D ゲーム 116
3D でゲームをプレイする 116
キーボードショートカット 117
ショートカットキーのカスタマイズ 118
3D フォト 118

DellConnect. 118
DellConnect 118
DellConnect を使用する 118

オペレーティングシステムの復元 121

オペレーティングシステムの復元について – Windows 8 . . . 123
Dell Backup and Recovery 123
Dell Backup and Recovery - Windows 8 123
Dell Backup and Recovery Basic – Windows 8. 124
Dell Backup and Recovery Professional – Windows 8 125
システムリカバリディスク 126
システムリカバリディスク – Windows 8 126
システムリカバリディスクを使用してコンピューターを
復元する – Windows 8 126
オペレーティングシステムの復元 127
システムの復元 127
システムの復元について 127
システムの復元を開始する 128
最後のシステムの復元を取り消す 128
Dell DataSafe Local Backup 129
Dell DataSafe Local Backup について. 129
Dell DataSafe Local Backup 129
Dell DataSafe Local Backup Basic 130
Dell DataSafe Local Backup Professional 130
システムリカバリディスク 131
システムリカバリディスクについて 131
システムリカバリディスクを使用してコンピューターを復元する . . . 131

Dell Factory Image Restore 132
Dell Factory Image Restore について 132
Dell Factory Image Restore を起動する 132
オペレーティングシステムディスク 133
オペレーティングシステムディスクについて 133
オペレーティングシステムディスクを使用してオペレーティングシステムを再インストールする 134
診断とトラブルシューティング 135
診断 137
PSA (Pre-Boot System Assessment). 137
PSA を呼び出す 137
Enhanced PSA 138
ePSA を呼び出す. 138
ビープコード. 139
トラブルシューティング 140
デジタル画面が見づらい 140
デスクトップ. 140
ノートパソコン 141
画面に何も表示されない、または画面が空白である 142
デスクトップ. 142
ノートパソコン 143
キーボードが動作しない、検出されない、断続的に動作しない場合 . . . 143
外付けキーボード 143
ノートパソコンのキーボード. 144

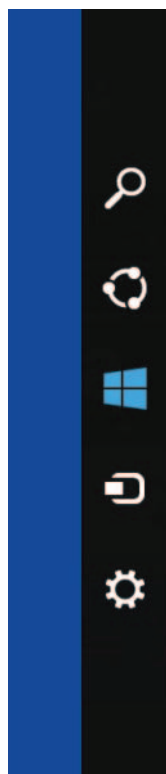
BIOS 145
セットアップユーティリティ (BIOS). 147
セットアップユーティリティ (BIOS) を起動する 147
セットアップユーティリティの画面 148
現在の起動順序を変更する. 149
起動順序の変更 150
BIOS のフラッシュ. 150

ヘルプを参照し、デルに問い合わせる 153
ヘルプを参照し、デルに問い合わせる. 155
セルフヘルプオプション 155
Windows ヘルプとサポートにアクセスする 155
デルへのお問い合わせ 156

参照資料 157
デルにお問い合わせになる前に. 159
コンピューターメンテナンス 160
デスクトップを快適にお使いいただくための注意事項 . . . 161
ノートパソコンを快適にお使いいただくための注意事項 . . . 162
デルと環境 164
法規制のコンプライアンスポリシー 165
法規制コンプライアンスのウェブサイトで詳細を確認する 165
追加コンプライアンス情報. 165

Windows 8 の新機能

チャームサイドバー

チャームはスタート画面にある一連の機能です。チャームメニューを開くには、画面の右端からスワイプします。またはマウスを使用している場合は、画面の右上隅をポイントしてマウスポインターを下に移動させます。マルチタッチタッチパッドを使用している場合は、指をタッチパッドの右に置き、タッチパッドの左へスワイプします。チャームには、検索、共有、スタート、デバイスおよび設定があります。

	検索チャーム	ウェブ、ファイル、アプリケーションを検索できます。
	共有チャーム	友だちとおよびソーシャルネットワークで写真、リンク等を共有できます。
	スタートチャーム	スタート画面に移動します。
	デバイスチャーム	ファイルやストリームビデオを TV 、プリンター、その他のデバイスに送信できます。
	設定チャーム	通知、音量調節、輝度調整、およびその他のコンピューター設定オプションにアクセスできます。

Windows 8 へのサインイン

コンピューターに初めてログオンする時は、以下のオプションが使用できます。

1. Microsoft アカウントの使用：すでに Microsoft アカウントをお持ちの場合、**電子メールアドレス**フィールドの Microsoft アカウント電子メール ID を使ってコンピューターにログオンできます。この機能により、お使いのコンピューターと Microsoft アカウントが同期されます。
2. Microsoft アカウントの作成：まだお持ちでない場合は、Microsoft アカウントを作成してコンピューターにログオンできます。**新規の電子メールアドレスにサインアップ**をタップまたはクリックして、新規の Microsoft アカウントを作成します。この機能により、Microsoft サービスのほとんどの機能（Outlook、SkyDrive等）にアクセスできます。
3. Microsoft アカウントなしでのログオン：Microsoft アカウントを使用しなくともコンピューターにログオンできます。**Microsoft アカウントなしでサインイン**をタップまたはクリックし、画面の指示に従います。

コンピューターをロックするには：

1. 画面の右端からスワイプして(またはマウスを使用している場合、画面の右上隅をポイントしてスタートを開き、次に**スタート**をタップまたはクリックします。
2. 右上隅にあるアカウントの写真をタップまたはクリックし、次に**ロック**を選択します。

ロック画面を無視するには：

1. 画面下側から上へスワイプして (またはキーボードを使用している場合はキーを押す) ロック画面を無視します。
2. サインイン画面で、選択した方法を使ってコンピューターにサインインします。

メモ：別の方法でサインインするには、**サインインオプション**をタップまたはクリックして、使用できるオプションを確認してください。

Windows 8 アプリケーションを閉じる

アプリケーションを閉じるには：

- マウスを使用している場合、アプリケーションを画面の上から画面の下にクリックアンドドラッグしてアプリケーションを放します。
- タッチスクリーンを使用している場合、アプリケーションを画面の下にドラッグしてアプリケーションを放します。

コンピューターの電源を切る – Windows 8

コンピューターの電源を切るには：

1. 画面の右端からスワイプし（マウスを使用している場合は、画面の右上隅をポイントし）、続いて**設定**をクリックします。
2. **電源**をタップまたはクリックし、続いて**シャットダウン**を選択します。

メモ：コンピューターをスリープまたはハイバネート状態にすることもできます。

コンピューターについて

電源アダプター

電源アダプターは、ポータブルコンピューターや特定のデスクトップコンピューターに電力を供給するのに使用されます。電源アダプターは、コンピューターの電源用に AC 電流を DC 電流に変換します。Dell 電源アダプターキットには、電源アダプターと電源ケーブルが入っています。電源アダプターの電力定格（65 W、90 W など）は用途のコンピューターによって異なり、電源ケーブルも電源アダプターの出荷先の国によって異なります。

△ **注意：コンピューターへの損傷を防ぐため、コンピューターに付属の電源アダプター、または Dell 認定の交換用電源アダプターのみを使用してください。**

バッテリー

ノートパソコンのバッテリー

以下の表に一般的に使用されるバッテリーの比較をまとめます。

3 セルバッテリー	6 セルバッテリー	9 セルバッテリー
低コスト	中コスト	高コスト
サイズ小	サイズ大	サイズ大
低容量	中容量	大容量
低重量	中重量	重量

メモ：同じ条件下で使用すると、低容量のバッテリーは充電回数が多くなるため、中容量や大容量のバッテリーより摩損が速くなります。

バッテリー電源を節約する

ノートパソコンのバッテリー電源を節約するには、次の操作を実行します。

- 駆動時間は、バッテリーが使用および充電される回数によって大きく異なるため、コンピューターはできるだけコンセントに接続して使用します。
- Microsoft Windows Power Options（電源オプション）を使用して、電源管理を設定し、コンピューターの電力使用量を最適化します（「電源オプションの設定」を参照）。
- コンピューターを長い時間離れて操作を行わない場合は、スリープ電源状態を使用します。

コイン型電池

コイン型電池はシステム基板に設置され、コンピューターの電源がオフの場合も、CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor) チップに電力を供給します。CMOS チップには時間、日付、その他設定情報が保存されており、コンピューターを切り替えた場合も、コイン型電池はこの設定を維持します。

コイン型電池は数年間使用できます。コイン型電池の駆動時間は、システム基板の種類、温度、コンピューターの電源を切る回数などの要因に影響を受けます。

バッテリーパフォーマンスを向上する

充電を保持できるバッテリーの駆動時間は、ノートパソコンの使用方法によって異なります。

バッテリーの駆動時間が大幅に減少するのには、以下の要因が挙げられます。

- オプティカルドライブを使用している場合
- ワイヤレス通信デバイス、ExpressCard、メディアカード、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または複雑な 3D グラフィックアプリケーションやゲームなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用している場合

以下の方法でバッテリーパフォーマンスを向上することができます。

- 可能な限り、コンセントに接続してコンピューターを使用します。バッテリーが放電し、再充電された回数によって、バッテリーの駆動時間が減少します。
- Microsoft Windows Power Options（電源オプション）を使用して、電源管理を設定し、コンピューターの電力使用量を最適化します（電力の管理を参照）。
- コンピューターを長い時間離れて操作を行わない場合は、スリープ電源状態を使用します。

バッテリーの使用頻度や使用状況により、バッテリーの寿命は時間と共に減少します。コンピューターの寿命がある間でも、新しいバッテリーを購入する必要が発生する場合もあります。

タッチパッド

タッチパッドについて

タッチパッドは、カーソルを動かす、選択した項目をドラッグまたは移動する、表面をタップして右クリックまたは左クリックするなどのマウス機能を提供します。タッチパッドにはタッチ感応式表面があり、コンピューターの画面上で対応する指の動きや位置を感知します。タッチパッドはノートパソコンやハイエンドなキーボードで使用できます。

タッチパッドジェスチャ

メモ：お使いのコンピューターでは、一部のタッチパッドジェスチャをサポートしていない場合もあります。

メモ：コンピューターデスクトップの通知領域にあるタッチパッドアイコンをダブルクリックすることで、タッチパッドジェスチャの設定を変更できます。

お使いのコンピューターでは、**スクロール**、**ズーム**、**回転**、**フリック**、**お気に入り**、**デスクトップジェスチャ**をサポートしている場合があります。

スクロール

コンテンツをスクロールします。スクロールには次のような機能があります。

パン – オブジェクト全体が表示されていない場合、選択したオブジェクトでフォーカスを移動します。

2 本の指を動かしたい方向に動かすと、選択したオブジェクトをパンスクロールします。

縦の自動スクロール – アクティブなウィンドウで上下にスクロールします。

2 本の指をすばやく上下に動かすと、縦の自動スクロールが有効になります。タッチパッドをタップすると、自動スクロールが停止します。

横の自動スクロール – アクティブなウィンドウで左右にスクロールします。

2 本の指をすばやく左右に動かすと、横の自動スクロールが有効になります。タッチパッドをタップすると、自動スクロールが停止します。

円形スクロール – 上下、左右にスクロールします。

上下にスクロールするには：縦のスクロール領域（タッチパッドの右端）で指を動かします。時計回りに円を描くと上へスクロールし、反時計回りに円を描くと下へスクロールします。

左右にスクロールするには：横のスクロール領域（タッチパッドの下端）で指を動かします。時計回りに円を描くと右へスクロールし、反時計回りに円を描くと左へスクロールします。

ズーム

画面コンテンツの表示を拡大/縮小します。

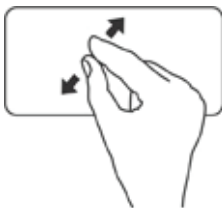
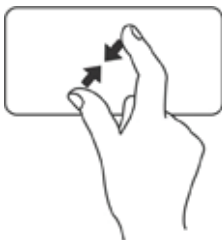
ズームには次のような機能があります。

1 本の指でのズーム – ズームインまたはズームアウトします。

ズームインするには：ズーム領域（タッチパッドの左端）で指を上に動かします。

ズームアウトするには：ズーム領域（タッチパッドの左端）で指を下に動かします。

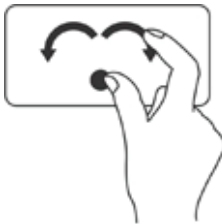
ピンチ – タッチパッドで 2 本の指を広げたり近づけたりすると、ズームイン/ズームアウトします。

ズームインするには：2 本の指を広げると、アクティブなウィンドウの表示が拡大されます。

ズームアウトするには：2 本の指を近づけると、アクティブなウィンドウの表示が縮小されます。

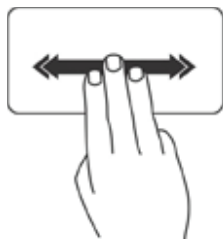
回転

画面上のアクティブなコンテンツを回転させます。回転には次のような機能があります。

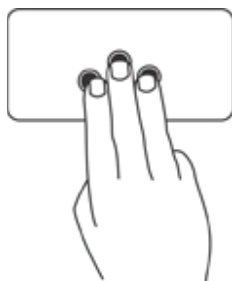
ツイスト – 1 本の指を軸とし、もう 1 本の指を回転すると、アクティブなコンテンツは 90 °ずつ回転します。

親指はそのままで、人差し指を左右に弧を描きながら動かすと、選択した項目が 90 °ずつ時計回り/反時計回りに回転します。

フリック

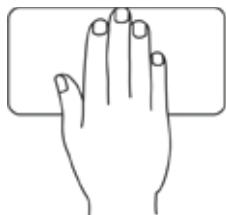
フリックの方向により、コンテンツを次に進めたり前に戻したりします。

3 本の指を希望する方向にすばやく動かすと、アクティブなウィンドウでコンテンツが次または前に移動します。

お気に入り

お気に入りのアプリケーションを開きます。

タッチパッドを 3 本指でタップします。タッチパッド設定ツールで設定したアプリケーションが起動します。

デスクトップ

開いているウィンドウをすべて最小化し、デスクトップが見えるようにします。

タッチパッド上の任意の方向に手を置き、しばらくそのままにします。

ディスプレイ

ディスプレイは、コンピューターの情報を視覚的に表示する出力デバイスです。

一般的に使用可能なディスプレイの種類は以下の通りです。

- タッチスクリーン
- 3D
- ワイヤレス

3D ディスプレイ

3D ディスプレイは、3 次元のイメージを表示するビデオ出力デバイスです。別々のオフセット 2D イメージを左右の目に見せることにより、3D 表示が機能します。2D イメージは脳で組み合わせられ、奥行きのある画像として解釈されるので、3D 効果が生まれます。

メモ：コンピューターによっては、3D ディスプレイをサポートしていない場合もあります。

ワイヤレスディスプレイ

ワイヤレスディスプレイ機能があれば、ケーブルを使用せずにコンピューターディスプレイを TV と共有することができます。ワイヤレスディスプレイをセットアップする前に、ワイヤレスディスプレイアダプターを TV に接続してください。

ワイヤレスディスプレイをセットアップする最小要件は以下の通りです：

プロセッサー	Intel Core i3-3xx から i7-66xx
ビデオコントローラー	Intel HD グラフィックス
WLAN カード	Intel Centrino 6100/6200/6300 or Intel Centrino Advanced-N + WiMAX 6250
オペレーティングシステム	Windows 7 Home Premium、Professional、または Ultimate
ドライバー	最新のワイヤレスカードドライバーと Intel ワイヤレスディスプレイ接続マネージャーは、**support.dell.com** でダウンロードできます。

メモ：コンピューターによっては、ワイヤレスディスプレイをサポートしていない場合もあります。

タッチスクリーンディスプレイ

タッチスクリーンは、マウスやタッチパッド、キーボードの代わりに、ディスプレイにタッチすることで、画面上のオブジェクトとの相互作用を実現するディスプレイデバイスです。タッチスクリーンは、指、手、タッチペンなどの受動オブジェクトで操作できます。タッチスクリーンディスプレイは通常、携帯電話、タブレット、コンピューターなどに使用されます。一般的に使用されるタッチスクリーン技術は、静電容量式および抵抗膜方式です。

メモ：コンピューターによっては、タッチスクリーンディスプレイをサポートしていない場合もあります。

タッチスクリーンジェスチャ

タッチスクリーンジェスチャは、ズーム、スクロール、回転などのタスクを実行したり、指をディスプレイ上でスライド、またはフリックさせることによって、タッチスクリーンの操作性を向上させます。

メモ：一部のジェスチャはアプリケーション特有であり、すべてのアプリケーションで動作するわけではありません。

ズーム

2 本の指をディスプレイ上で離したり、近づけたりすることによって、アクティブなスクリーンのコンテンツを拡大、または縮小表示します。

ズームイン

ズームアウト

ドウェル

右クリックをシミュレートして、追加情報にアクセスします。

タッチスクリーンを指で長押しすると、コンテキストに応じたメニューが開きます。

フリック

フリックの方向により、コンテンツを次に進めたり前に戻したりします。

希望する方向に指をすばやく動かすと、アクティブなウィンドウのコンテンツを本のページのようにめくる動作を行います。

また、画像や再生リストの曲などのコンテンツをナビゲートする場合、縦方向にフリックします。

スクロール

コンテンツをスクロールします。スクロールには次のような機能があります。

パン – オブジェクト全体が表示されていない場合、選択したオブジェクトでフォーカスを移動します。

2 本の指を動かしたい方向に動かすと、選択したオブジェクトをパンスクロールします。

縦のスクロール – アクティブなウィンドウで上下にスクロールします。
指を上下に動かすと、縦のスクロールが有効になります。

横のスクロール – アクティブなウィンドウで左右にスクロールします。
指を左右に動かすと、横のスクロールが有効になります。

回転

画面上のアクティブなコンテンツを回転させます。

ツイスト – 2 本の指を使って、アクティブなコンテンツを回転させます。

1 本指か親指を一ヶ所に置いたまま、もう 1 本の指で弧を描くように動かします。

2 本の指を円を描くように動かせば、アクティブなコンテンツを回転させることもできます。

キーボード

コンピューターのキーボードとは、ラベルのついた四角と長方形のキーを配置したもので、それぞれのキーに機能が割り当てられています。キーを押すと、文字や数字が入力でき、キーに割り当てられたタスクを実行することができます。キーの配置は各メーカーによって少しずつ異なりますが、基本的にどのキーボードにも同じキーが配置されています。

ほとんどのキーボードには、標準的な数学と計算に使う記号と普通の数字キーを並べたテンキーパッドがあります。ノートパソコンは、物理的キーボードがシャーシに内蔵されていますが、省スペース化を図るため、テンキーパッドがないデザインになっています。一部の小型ノートパソコンやネットブックコンピューターには物理的キーボードが付属しておらず、オンスクリーンキーボードを使用します。

お使いのキーボードには、次のようにさまざまな機能を実行する一連の異なるキーが提供されています。

- 文字や数、句読点、および記号の入力を行なう英数字キー
- 次のような特定のアクションを実行するコントロールキー：<Ctrl>、<Alt>、<Esc>、および Windows キー
- 特定のタスクを実行する、<F1>、<F2>、<F3>などのファンクションキー
- 次のようなドキュメントやウィンドウ内でカーソルを移動するナビゲーションキー：<Home>、<End>、<Page Up>、<Page Down>、<Delete>、<Insert >、および矢印キー
- 計算機のように数字がまとめて配置されているテンキーパッド（ノートパソコンのテンキーパッドは、ほとんどの場合、アルファベットキーに統合されています）

バックライト付きキーボード

バックライト付きキーボードは、キーボードの下にある LED で記号を照らし、暗い場所でもキーが見えるように工夫したものです。バックライトは手動でオンにしたり、暗い環境にコンピューターを使用すると自動的にオンにするよう、設定することができます。

Dell のノートパソコンでは、一般的に 3 種類のライティングステータスを用意しています。

- 完全な輝度のキーボード/タッチパッド
- 半分の輝度のキーボード/タッチパッド
- 照明なし

<Fn> と右矢印キーを押すと、3 つのライティングステータスを切り替えることができます。

メモ：コンピューターによっては、バックライト付きキーボードが使用できない場合もあります。詳細については、コンピューターの仕様を参照してください。

キーボードの接続タイプ

有線またはワイヤレス接続を使用してキーボードをコンピューターに接続します。

有線：ケーブルでキーボードをコンピューターに接続し、バッテリーなどの追加電源は必要ありません。以下のいずれかの方法で接続できます。

- USB – 現世代のコンピューターすべてで使用されます。
- PS/2 ポート – 旧型のコンピューターで使用されます。

ワイヤレス：ワイヤレス信号を使用してキーボードをコンピューターに接続します。この接続方法はケーブルのゴチャゴチャを解消し、コンピューターから数メートル内の使いやすい位置で柔軟にキーボードを使用することができます。このキーボードは動作するのにバッテリーが必要で、一部のワイヤレスキーボードでは再充電可能なバッテリーが使用されています。ワイヤレス接続は以下のいずれかの方法で接続できます。

- RF（無線周波数）– コンピューターの USB ポートに RF 受信装置を接続します。
- Bluetooth – コンピューターに取り付け済みの Bluetooth アダプター、またはコンピューターの USB ポートに接続した Bluetooth アダプターを使用して、キーボードをコンピューターに接続します。

サービスタグおよびエクスプレスサービスコードを確認する

コンピューターのサービスタグおよびエクスプレスサービスコードは、コンピューターのラベルに記載されているか、デルのオンラインシステムプロファイラーを使用して確認できます。

コンピューターのラベルを確認する

サービスタグおよびエクスプレスサービスコードは、コンピューターのラベルに記載されています。ラベルは以下のいずれかにあります：

- ポータブルコンピューター：ポータブルコンピューターの底部
- デスクトップコンピューター：コンピューターシャーシの背面または上部

デルのオンラインシステムプロファイラーを使用する

コンピューターに電源が入っており、インターネットにアクセスしている場合、デルのオンラインシステムプロファイラーを使用して、サービスタグおよびエクスプレスサービスコードをスキャンすることができます。サービスタグをスキャンするには、以下の手順に従って操作します：

- **support.jp.dell.com** にアクセスします。
- **システム構成**をクリックします。
- **サービスタグを検索する**をクリックして、画面の指示に従って操作します。

ストレージ

ストレージデバイスについて

ストレージデバイスは、後で使用できるようにデータを保存する場所です。ストレージデバイスには、内蔵タイプと外付けタイプの 2 種類があります。ほとんどのストレージデバイスは手動で削除するまでデータを保存します。ストレージデバイスには、ハードドライブ、オプティカルドライブ、USB メモリキーなどがあります。

内蔵ストレージデバイス

コンピューター内部に取り付けられたストレージデバイスは、内蔵ストレージデバイスと呼ばれます。このタイプのデバイスは、コンピューターの電源が入っている間は取り外すことができません。通常、内蔵ストレージデバイスに保存されたデータは手動で削除するまで保存されたままです。
内蔵ストレージデバイスには、HDD（ハードドライブ）とSSD（半導体ドライブ）があります。

ハードドライブ

HDD は、保護エンクロージャ内に、モーター駆動のスピンドルで回転する磁気的にコーティングしたプラッターを搭載しています。データは、プラッターの上部にある読み/書きヘッドによって、磁気的に読み取り/書き込みされます。ハードディスクドライブは、コンピューターのデータセンターです。
代表的な HDD は、プラッターと呼ばれるフラットな円盤ディスクを固定したスピンドルで構成されています。プラッターにデータを書き込んで記録します。プラッターは、アルミ合金やガラスなどの非磁性体素材で作られ、磁性素材の薄膜でコーティングされています。保護用にカーボンの外縁レイヤーをほどこしています。

半導体ドライブ

SSD は、半導体（フラッシュ）メモリを使用してデータを保存するデータストレージデバイスです。SSD では、データは電気回路に書き込まれるので、可動するパーツはありません。HDD と比較すると、SSD は物理的な衝撃に影響を受けにくく、ノイズが少なく、アクセス時間やレーテンシー（待機時間）が短いという特長があります。SSD は HDD と同じインターフェースでコンピューターに接続するため、ほとんどの既存のコンピューターと互換性があります。

リムーバブルストレージデバイス

コンピューターの電源を切らずにコンピューターから取り外しできるストレージデバイスをリムーバブルストレージデバイスと呼びます。一般的に使用されるリムーバブルストレージデバイスは以下の通りです：

- オプティカルディスク
- メモリカード
- 磁気テープ

オプティカルディスク

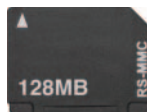
オプティカルディスクは以下のようなメディアを指します：

- **Blu-ray Disc** – Blu-ray Disc (BD) は DVD に代わるフォーマットとして作られました。標準の物理媒体は、DVD や CD と同じ 12cm のプラスチック製のオプティカルディスクです。Blu-ray Discs は 25 GB（シングルレイヤー）または 50 GB（デュアルレイヤー）のデータを収めることができます。
- **DVD** – DVD (Digital Versatile Disc) は最大 4.7 GB（シングルレイヤー）または 8.5 GB（デュアルレイヤー）のデータを収めることができます。
- **CD** – CD (Compact Disc) は最大 800 MB のデータを収めます。

メモリカード

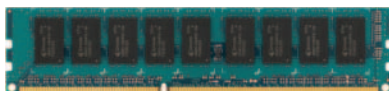
メモリカードは、フラッシュカードとも呼ばれ、フラッシュメモリを使用してデジタル情報を保存します。書き替え可能で高速なだけでなく、電源が切断されてもデータを維持します。メモリカードは、デジタルカメラ、携帯電話、メディアプレーヤー、ゲーム機などのデバイスで使用されます。

一般的なメモリカードのタイプは以下の通りです：

SD (Secure Digital)/ **SDHC (Secure Digital High Capacity)**	
MS (Memory Stick)/ **MS Pro (Memory Stick Pro)**	
xD (Extreme Digital)	
MMC（マルチメディアカード）	
SDXC (Secure Digital Extended Capacity) **[UHS (card with Ultra High Speed)]**	

MSXC (Memory Stick XC)	
MMC+（マルチメディアカードプラス）	

メモリモジュール

メモリモジュールとは、PCB（プリント回路基板）に RAM（ランダムアクセスメモリ）チップを半田付けしたものです。メモリモジュールは、コンピューターで必要な RAM を提供します。使用するコンピューターの種類に応じて、メモリモジュールは次のように分類されます：

- DIMM (Dual In-line Memory Module) – デスクトップコンピューターで使用されます。
- SODIMM (Small Outline Dual In-line Memory Module) – DIMM よりサイズが小さなタイプです。一般的にノートパソコンで使用されますが、コンパクトタイプのデスクトップや一体型コンピューターでも使用されます。

システム基板

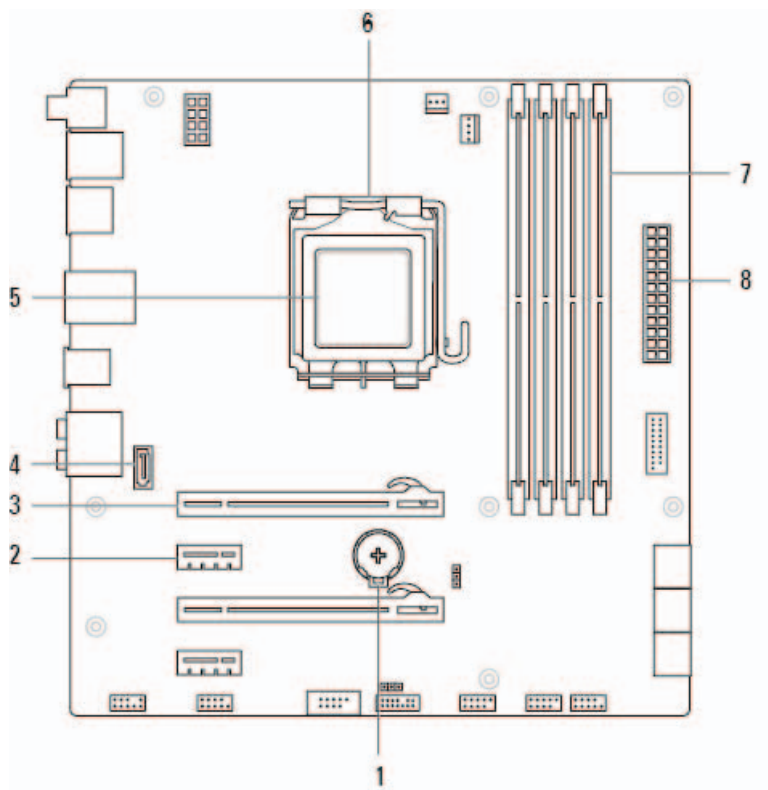
システム基板とは、コンピューターの中心部となるプリント回路基板のことです。各デバイスは、システム基板に接続することによって、相互に作用するようになります。システム基板には、各種コントローラーとコネクターがあり、コンピューター内のコンポーネント間でデータ交換することができます。

システム基板には以下のような重要なコンポーネントが搭載されています：

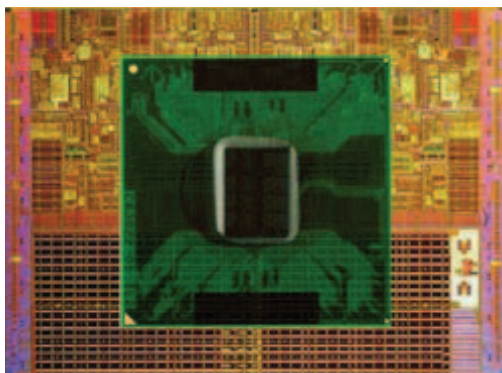
- プロセッサーソケット – プロセッサーを取り付けるスロットになります。
- メモリモジュールコネクター – メモリモジュールを取り付けるスロットになります。
- 拡張カードスロット – 拡張カードを取り付けるスロットになります。
- チップセット – プロセッサーのフロントサイドバス、メインメモリ、周辺機器バスのインタフェースになります。
- フラッシュメモリ – システムメモリまたは BIOS プログラムが搭載されています。
- 電源コネクター – コンピューターの電源からシステム基板に電力を供給します。

また、システム基板にはグラフィック、サウンド、ネットワーク機能が統合されている場合もあります。

以下の図に、デスクトップシステム基板の基本コンポーネントを示します。

メモ：コンポーネントのサイズ、形状、位置はシステム基板、および対象となるコンピューターによって異なります。

1	バッテリーソケット	**2**	PCI Express x1 コネクター
3	PCI Express x16 コネクター	**4**	eSATA コネクター
5	プロセッサー	**6**	プロセッサーソケット
7	メモリモジュールコネクター	**8**	電源コネクター

プロセッサー

プロセッサーは、希望通りの出力を生成するためのデータや命令を処理するコンピューターまたは電子機器の一部です。

プロセッサーは以下の要件によって分類されます：

- ダイにある処理コア数
- GigaHertz (GHz) またはMegaHertz (MHz) で計測したスピードまたは周波数
- キャッシュとも呼ばれるオンボードメモリ

プロセッサーのパフォーマンスは通常、1 秒間に実行できる計算数で測られます。現世代のプロセッサーは、50,000 MIPS（100万命令毎秒）、またはハイエンドモデル以上のスピードを実現します。現世代のプロセッサーは、LGA (Land Grid Array) または PGA (Pin Grid Array) コネクターを使用して、システム基板に接続されます。システム基板に統合されている場合もありますが、ほとんどが携帯デバイスです。

現在、次のようなプロセッサーファミリーがあります：

- Intel Pentium
- Intel Celeron
- Intel Core シリーズ
- Intel i シリーズ
- Intel Xeon
- AMD Athlon
- AMD Phenom
- AMD Sempron

プロセッサーは、モバイルデバイス、ノートパソコン、デスクトップコンピューター、サーバー向けにそれぞれ作られています。モバイルデバイス向けに作られたプロセッサーは、デスクトップやサーバー用のプロセッサーより消費電力を抑えるようになっています。

コンピューターファン

コンピューターファンは、熱い空気を逃がすことにより、コンピューターの内部コンポーネントを冷却する装置です。コンピューターファンは通常、電力消費が高く、大量の熱を放出するコンポーネントの冷却に使用されます。コンポーネントを冷却することにより、加熱、誤動作、損傷を防ぎます。

ファンは以下のコンポーネントを冷却します。

- コンピューターシャーシ
- プロセッサー
- グラフィックスカード
- チップセット
- ハードドライブなど。

ヒートシンク

ヒートシンクは、プロセッサーやハイエンドなグラフィックスカードが放出する熱を分散するために使用されます。ヒートシンクは、通常、空気の流れを良くするファンが上部に取り付けられており、金属だけではなく、フィンや羽根で構成されています。これにより、表面領域の熱分散が促進されます。プロセッサー/グラフィックスカードとヒートシンクの間には、サーマルグリースが塗布されており、熱交換を促します。

サーマルグリース

サーマルグリースはサーマルジェルやサーマル化合物とも呼ばれ、プロセッサーとヒートシンクの間に熱誘導層を作るために使用されます。プロセッサーとヒートシンクの間にサーマルグリースを塗布すると、サーマルグリースは空気より伝導性に優れているため、プロセッサーからヒートシンクへの熱伝導が促進されます。

ビデオカード

ビデオカードは、モニターやプロジェクターなどのディスプレイデバイスにビデオ信号または情報を送信するコンポーネントです。

ビデオカードは以下の 2 種類に分類できます：

- **統合ビデオ** – オンボードビデオカードとも呼ばれ、システム基板に搭載されるチップを指します。統合ビデオカードには専用メモリがなく、システムメモリとプロセッサーを共有してビデオを出力します。統合ビデオカードは、高いビデオパフォーマンスを必要としないユーザーに適しています。
- **外付けビデオ** – 外付けビデオカードはシステム基板上に別個に取り付けられます。外付けビデオカードには専用メモリがあり、一般的に統合ビデオカードより高いパフォーマンスを提供します。このビデオカードは通常、システム基板の PCI-E x16 拡張スロットに取り付けられます。ビデオカードの旧バージョンのコネクターには PCI と AGP が備わっています。外付けビデオカードは、高解像度のビデオゲームなど、グラフィックに負荷のかかるアプリケーションに適しています。

メモ：外付けビデオカードが統合ビデオカードを内蔵したコンピューターに取り付けられると、統合ビデオカードは無効に設定されます。セットアップユーティリティプログラムを使用して、手動で統合ビデオカードを有効にします。

- **APU (Accelerated Processing Unit)** – APU は GPU（グラフィック処理ユニット）または CPU と同じチップ上の他の処理システムにエッチングをほどこして形成されます。このため、APU は電力消費を抑えながら、高いデータ転送スピードを実現し、統合ビデオカードと比較すると高いパフォーマンスを提供します。

TV チューナー

TV チューナーがあれば、コンピューターでテレビを視聴することができます。TV チューナーは、デスクトップ用もノートパソコン用もあり、次のような各種接続オプションに対応します。

- 内部
  - PCI-E
  - PCI
- 外部
  - USB
  - PC カード
  - ExpressCard

TV チューナーはほとんどがスタンドアローンタイプですが、一部のビデオカードには TV チューナーが内蔵されている場合があります。ほとんどの TV チューナーカードには、テレビのコンテンツをコンピューターに録画できるソフトウェアがバンドルされています。

スピーカー

コンピューターからのサウンドを出力する（聴く）場合、スピーカーを使用します。スピーカーは内蔵タイプと外付けタイプがあります。通常、デスクトップコンピューターの内蔵スピーカーは、エラーや故障のビープ音を出力するためだけに使用されます。外付けスピーカーはマルチメディアスピーカーとも呼ばれ、映画や曲、マルチメディアコンテンツなどのサウンドを出力します。スピーカーは通常、2、2.1、5.1、7.1 などの形式で識別します。小数点の前の数字はチャネル数を示し、小数点の後の数字 (1) はサブウーハーを示します。通常、スピーカーは 3.5 mm コネクターまたは USB コネクターを使用してコンピューターに接続します。

メモ：5.1 または 7.1 チャネルサウンドを再生する 5.1 または 7.1 チャネルスピーカーの場合、コンピューターのサウンドカードが 5.1 または 7.1 チャネルオーディオをサポートする必要があります。

Web カメラ

Web カメラは、リアルタイムなビデオやイメージをキャプチャできるデバイスで、ビデオ会議にも使用できます。

Web カメラのタイプは、コンピューターの購入時に選択した項目によって異なります。Web カメラがコンピューターに内蔵されていない場合は、外付け Web カメラを別途購入する必要があります。外付け Web カメラは USB コネクターを使用してコンピューターに接続します。カメラの品質は、通常キャプチャできるピクセル数によって定義されます。

Web カメラを有効にする

1. **スタート** → **コントロールパネル**→ **デバイスマネージャー**をクリックします。
2. **イメージングデバイス** をクリックして、**カメラ**をダブルクリックします。
3. **有効にする**をクリックします。

   これで Web カメラが有効に設定されました。

Web カメラのソフトウェアを開き、Web カメラの機能を活用してください。

Dell Web カメラマネージャー

Dell Web カメラマネージャーは、すべての Web カメラ機能と構成オプションのハブとして機能します。Dell Web カメラマネージャーには、以下の機能が搭載されています。

- **Web カメラセンター** – ビデオ録画、モーション検出、フォトキャプチャなど Web カメラの主要録画機能をコントロールします。
- **Web カメラコンソール** – 画質、フェイストラッキング、パンとズーム、オーディオ、ビデオエフェクトなどの Web カメラ機能を設定します。
- **ビデオチャット** – Google Talk、Yahoo!、 Messenger、AOL Instant Messenger など人気の高いインスタントメッセージサービスでビデオチャットが楽しめます。
- **Live! Cam Avatar** – ビデオチャット用のアバターを選択したり、オーディオフィルターを適用したり、またはビデオのアバターで顔文字スタイルの感情表現を使用します。
- **アバターの作成** – Live! Cam Avatar Creator ソフトウェアを使用して、ビデオチャット用に独自のアバターを作成します。

Dell Web カメラマネージャーにアクセスする

1. **スタート** → **すべてのプログラム**または**プログラム**をクリックします。
2. **Dell Web カメラ**→ **Dell Web カメラマネージャー**をクリックします。

   Dell Web カメラマネージャーウィンドウが表示されます。

Dell Web カメラセンターのデジタルアレイマイクを有効にする

1. **スタート** → **すべてのプログラム**または**プログラム**をクリックします。
2. **Dell Web カメラ**→ **Dell Web カメラマネージャー**をクリックします。

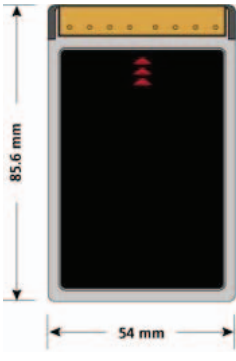
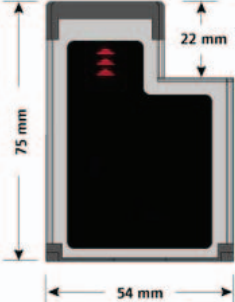
   Dell Web カメラマネージャーウィンドウが開きます。
3. **Web カメラセンター**をクリックします。
4. **オーディオソース**の隣にあるドロップダウン矢印をクリックし、**デジタルマイク（Realtek ハイディフィニッションオーディオ）**をクリックしてマイクを有効にします。

ExpressCard

ExpressCard を使用して、メモリカード、有線/無線通信機器、プリンター、スキャナー、マイクなどの周辺機器をノートパソコンに接続することができます。ExpressCard は PC カードの代わりになるものです。

ExpressCard は外部からアクセス可能な ExpressCard スロットに取り付けます。ExpressCard が取り付けられていない場合、ノートパソコンとデスクトップの ExpressCard スロットには埃の侵入を防ぐためのダミーカードが取り付けられています。ExpressCard を取り付ける前にダミーカードを取り除いてください。

1	ExpressCard、またはダミーカード	2	ExpressCard リリースラッチ

ExpressCard のタイプ	機能
ExpressCard/34	• 主にコンパクトタイプのコンピューターで使用され、限られた種類の周辺機器のみサポートします。 • EC 34 スロットと EC 54 スロットのいずれでも使用できます。
ExpressCard/54	• さまざまな種類の周辺機器をサポートします。 • 34mmカードより電力消費量が増えます。 • EC 54 スロットをサポートするコンピューターでのみ使用できます。

PC カードと ExpressCard のサイズ比較を以下の図に示します。

PC カード	54 mm ExpressCard (EC 54)	34 mm ExpressCard (EC 34)

通信デバイス

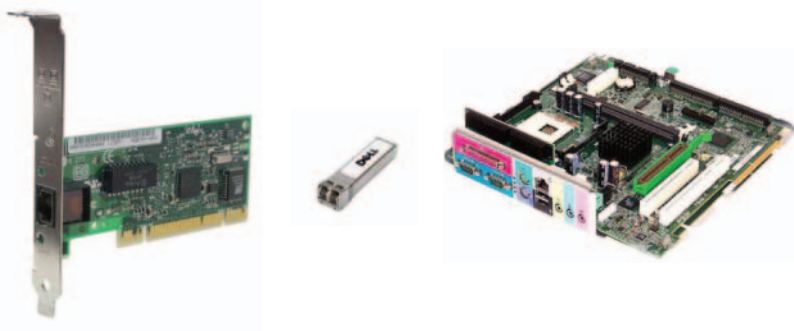
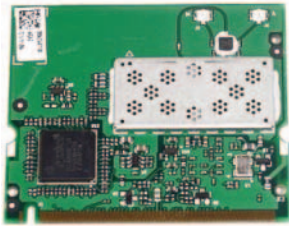
ネットワークを介してデータの送受信を行う電子機器を通信デバイスと呼びます。通信デバイスは接続の両サイドで使用されます。信号はアナログまたはデジタル形式で 1 つのデバイスから別のデバイスへ送られます。ほとんどの通信デバイスは、デジタル信号をアナログ信号へ、またはその逆の変換を行う機能を備えており、信号を 1 つのデバイスから別のデバイスへ伝送することができます。

一般的に使用される通信デバイスは次の通りです：

モデム – モデム (Modem) は、Modulator and Demodulator の略語です。モデムには、アナログ（ダイヤルアップ）とデジタルの 2 種類があります。

- ダイヤルアップモデム – アナログの電話信号をコンピューターが処理できるデジタル信号に変換したり、デジタルコンピューター信号を電話回線経由で伝送できるアナログ信号に変換する電子機器です。ダイヤルアップモデムには、内蔵型と外付けがあります。

- デジタルモデム – DSL (Digital Subscriber Line) や ISDN (Integrated Services Digital Network) などのデジタル電話回線を介したデータの送受信に使用されます。

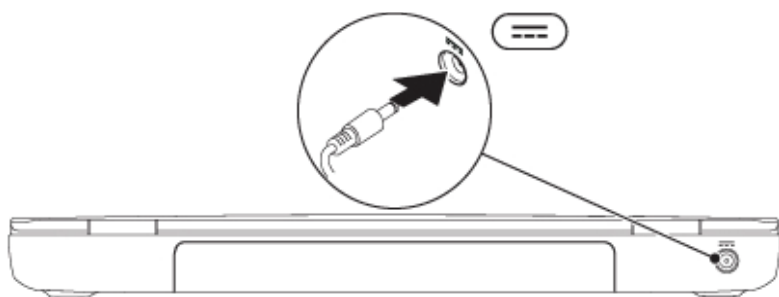
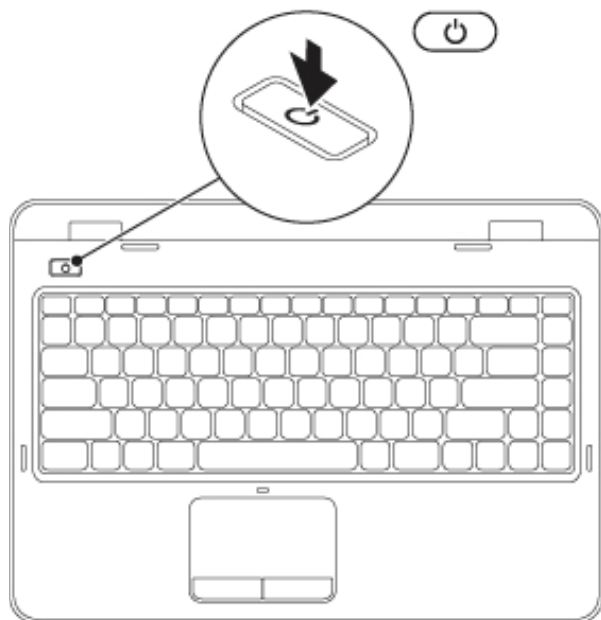
NIC (Network Interface Controller) – ネットワークアダプターまたは LAN（ローカルエリアネットワーク）とも呼ばれます。通常、Ethernet ケーブルを使用してネットワークを接続します。NIC は内蔵（拡張カードまたはシステム基板に統合）、または外付けのいずれかになります。

ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) コントローラー – 従来のネットワークケーブルの代わりに無線信号を使用し、短距離のネットワーク通信をサポートします。WLAN コントローラーは内蔵（拡張カードまたはシステム基板に統合）、または外付けのいずれかになります。

ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WWAN) コントローラー – 中継塔テクノロジーを使用し、ワイヤレス接続を可能にします。WWAN 接続には SIM カードが必要です。

Bluetooth アダプター – 近い位置にある Bluetooth 対応デバイスどうしの通信を可能にします。Bluetooth アダプターは内蔵（拡張カードまたはシステム基板に統合）、または外付けのいずれかになります。

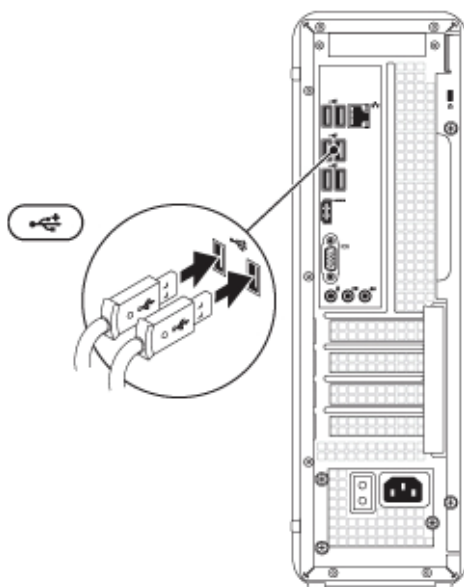
コンピューターをセットアップする

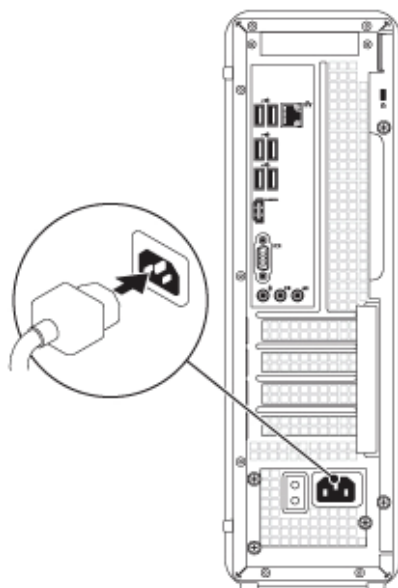
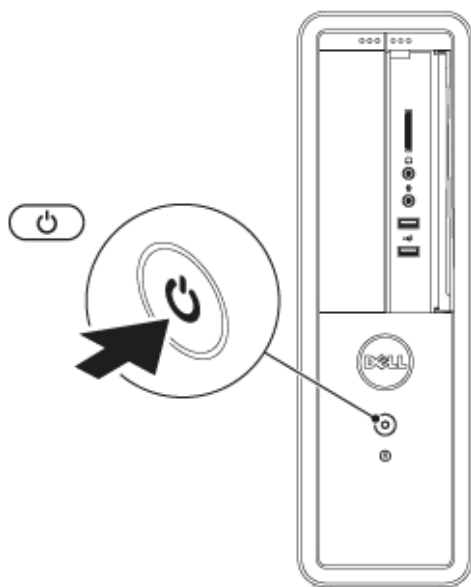
ノートパソコンをセットアップする

⚠ **警告：AC アダプターは世界各国のコンセントに適合します。ただし、電源コネクターおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。**

1. AC アダプターをコンピューターに接続し、続いて壁のコンセントまたはサージプロテクターに差し込みます。

2. 電源ボタンを押して、ノートパソコンの電源を入れます。

メモ：電源ボタンと AC アダプター接続の位置は、コンピューターのモデルによって異なります。

デスクトップをセットアップする

1. ディスプレイをコンピューターの適切なディスプレイコネクターに接続します（ディスプレイをセットアップするを参照）。
2. USB キーボードとマウスを USB コネクターに接続します。

メモ：コンピューターのモデルによっては、USB ポートはコンピューターの前面パネルにあります。

3. 電源ケーブルを接続します。

4. 電源ボタンを押して、コンピューターの電源を入れます。

インターネット

有線インターネット接続をセットアップする

ダイヤルアップ、DSL、ケーブル/衛星モデムを使用して、有線インターネット接続をセットアップすることができます。

- ダイヤルアップ接続を使用する場合は、電話線を外付け USB モデム（オプション）と壁の電話ジャックに接続してから、インターネット接続をセットアップします。
- DSL またはケーブル（衛星）モデム接続を使用している場合、セットアップの手順についてはご契約の ISP（インターネットサービスプロバイダー）または携帯電話サービスにお問い合わせください。

メモ：ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。居住する国で使用可能なオプションについては、ISP にお問い合わせください。

ご契約の ISP 情報をご用意ください。ISP に登録していない場合は、**インターネットに接続する**ウィザードを利用すると簡単に登録できます。

有線インターネット接続をセットアップするには：

Windows 8

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 画面の右端からスワイプし（またはマウスを使用している場合は、画面の右上隅をポイントし）、**検索** をクリックします。
3. **設定**をクリックします。
4. 検索ボックスにネットワークと共有センターと入力し、<Enter> を押します。**ネットワークと共有センター**→ **新しい接続またはネットワークのセットアップ**→ **インターネットへの接続**をクリックします。インターネットへの接続ウィンドウが表示されます。

メモ：どの接続タイプを選択すべきか分からない場合は、**選択についての説明を表示します**をクリックするか、ご契約の ISP にお問い合わせください。

5. 画面の指示に従って、ISP から提供されたセットアップ情報を使用してセットアップを完了します。

Windows 7 および Windows Vista の場合

1. **スタート** をクリックし、検索ボックスにネットワークと入力し、続いて**ネットワークと共有センター→ 新しい接続またはネットワークのセットアップ→ インターネットへの接続**をクリックします。**インターネットへの接続**ウィンドウが表示されます。

メモ：どの接続タイプを選択すべきか分からない場合は、**選択についての説明を表示します**をクリックするか、ご契約の ISP にお問い合わせください。

2. 画面の指示に従って、ISPから提供されたセットアップ情報を使用してセットアップを完了します。

過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

ワイヤレスインターネット接続をセットアップする

メモ：ワイヤレスルーターをセットアップするには、ルーター付属のマニュアルを参照してください。

ワイヤレスインターネット接続を使用する前に、コンピューターをワイヤレスルーターに接続してください。

Windows 8

1. お使いのコンピューターがワイヤレス接続に対応していることを確認してください。
2. チャームバーを開きます。
3. チャーム設定を選択します。
4. ネットワークアイコンを選択します。
5. 接続するネットワークをクリックします。
6. ネットワークキーを入力します。
7. ファイルの共有をオン/オフにします。

メモ：実際の手順は、お使いのコンピューターにインストールされているオペレーティングシステムによって異なる場合があります。

Windows 7

Microsoft Windows 7 または Windows Vista でワイヤレスルーターへの接続をセットアップするには：

1. お使いのコンピューターがワイヤレス接続に対応していることを確認してください。
2. **スタート** をクリックし、検索ボックスにネットワークと入力し、続いて**ネットワークと共有センター→ 新しい接続またはネットワークのセットアップ→ インターネットへの接続**をクリックします。**インターネットへの接続**ウィンドウが表示されます。
3. 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

ディスプレイ

ディスプレイをセットアップする

1. ディスプレイで使用可能なコネクターのタイプをチェックし、ディスプレイ付属のケーブルを確認してください。以下の表を参照して、適切なディスプレイコネクターを特定し、選択してください。

HDMI	HDMI	
VGA		
DVI		

メモ：オプションの外付けグラフィックスカードを購入した場合、外付けグラフィックスのコネクターを使用してディスプレイを接続します。

メモ：コンピューターに外付けグラフィックスカードが取り付けられている場合は、統合 VGA と HDMI コネクターは無効になり、キャップされます。

メモ：単一ディスプレイを接続する場合は、ディスプレイを接続するコンピューターのコネクターは 1 つにのみにしてください。

2. コンピューターとディスプレイに対応するコネクターに応じて、適切なケーブルを使用します。ディスプレイのコネクターと外付けグラフィックスカードのコネクターが異なる場合は、適切なアダプター（DVI-VGA アダプターまたは HDMI-DVI アダプター）を使用して、ディスプレイをグラフィックスカードに接続する必要があります。

3. 以下の表を参照して、お使いのコンピューターとディスプレイのコネクターを確認してください。

接続の種類	コンピューター	ケーブル	ディスプレイ
VGA-VGA（VGA ケーブル）			
DVI-DVI（DVI ケーブル）			
DVI-VGA（DVI-VGA アダプター + VGA ケーブル）			
HDMI-HDMI（HDMI ケーブル）			
HDMI-DVI（HDMI-DVI アダプター + DVI ケーブル）			

DVI-VGA アダプター、HDMI-DVI アダプター、追加の HDMI ケーブルまたは DVI ケーブルは、**dell.com** で購入できます。

3D ディスプレイをセットアップする

メモ：お使いの TV またはコンピューターは 3D をサポートしていない場合があります。お使いのコンピューターが 3D をサポートしているかチェックする場合は、コンピューター付属のマニュアルを参照してください。お使いの TV がコンピューターに搭載されている 3D 機能をサポートしているかチェックする場合は、**www.nvidia.com/3dtv** で**システム要件**を確認してください。

1. HDMI ケーブルでコンピューターを 3D TV に接続します。

   メモ：HDMI ケーブルは、音声とビデオの両方の信号を伝送します。

2. 次の操作で、HDMI 1.4 3D TV をセットアップします。

   a. TV の 3D 設定メニューを参照します。

   b. 3D モードを**自動**に設定します。

c. メガネの目の順番を**デフォルト** または **標準**に設定します。

メモ：NVIDIA 3DTV Play でメガネのタイミングをアプリケーションコントロールする場合は、目の順序設定を変更しないでください。

メモ：TVにWindowsデスクトップ全体を表示できない場合は、3DTVの設定でディスプレイの解像度を下げてください。3D 設定の詳細については、TV に付属のマニュアルを参照してください。

3. 次の操作で、TV をプライマリディスプレイとして設定します。

a. デスクトップを右クリックして、**NVIDIA コントロールパネル**を選択します。

b. **NVIDIA コントロールパネル**ウィンドウで**ディスプレイ** をクリックして、選択範囲を広げ（複数選択していない場合）て**マルチディスプレイのセットアップ**をクリックします。

c. **ディスプレイ設定の検証** セクションで 3D TV を右クリックし、**このディスプレイをプライマリ ディスプレイに設定する**を選択します。

4. 次の操作で、NVIDIA 3DTV Play アプリケーションをセットアップします。

a. **NVIDIA コントロールパネル**ウィンドウで、**ステレオスコピック 3D** をクリックして選択範囲を広げ、続いて**ステレオスコピック 3D のセットアップ**をクリックします。

b. **ステレオスコピック 3D の有効化**チェックボックスを選択します。
3DTV Play セットアップウィザードが表示されます。

c. 3DTV Play のロゴがコントロールパネルに表示されることを確認します。

5. 次の操作で、3D コンテンツタイプに合うように、デスクトップの解像度を変更します。

a. **NVIDIA コントロールパネル**ウィンドウで、**ディスプレイ**をクリックして選択肢を展開し、続いて**解像度を変更**をクリックします。

b. 3D ゲームの場合は、解像度を **720p**、**1280x720** に設定し、リフレッシュレートを HD 3D モードで **60/59 Hz** に設定します。

c. Blu-ray 3D 再生の場合は、解像度を **1080p**、**1920x1080** に設定し、リフレッシュレートを HD 3D モードで **24/23 Hz** に設定します。

メモ：PAL システム（リフレッシュレート 50 Hz または 100 Hz）、または NTSC システム（60 Hz または 120 Hz）を使用する TV の場合は、解像度を **720p**、リフレッシュレートを **60/59 Hz** に設定します。

メモ：3DTV Play が無効の場合でも、HD 3D モードではゲームのパフォーマンスは低下します。パフォーマンスを最大にするには、3DTV Play が無効の場合、HD または SD モードを選択します。

6. ビデオ、ゲーム、または音楽をTVで再生しながら音量を調整して、TVのHDMI オーディオをチェックします。

ワイヤレスディスプレイをセットアップする

ワイヤレスディスプレイをセットアップするには：

1. コンピューターの電源を入れます。
2. ワイヤレスが有効に設定されていることを確認します。
3. ワイヤレスディスプレイアダプターを TV に接続します。

   メモ：ワイヤレスディスプレイアダプターはコンピューターに付属していませんので、別途購入してください。
4. TV とワイヤレスディスプレイアダプターの電源を入れます。
5. HDMI1、HDMI2、または S-Video など、TV に適したビデオソースを選択します。
6. デスクトップで Intel ワイヤレスディスプレイアイコン をダブルクリックします。**Intel WIntel ワイヤレスディスプレイ** ウィンドウが表示されます。
7. **使用可能なディスプレイをスキャン**を選択します。
8. **検出されたワイヤレスディスプレイ**リストから、お使いのワイヤレスディスプレイアダプターを選択します。
9. TV に表示されるセキュリティコードを入力します。

ワイヤレスディスプレイを有効にするには：

1. デスクトップでIntelワイヤレスディスプレイアイコン をダブルクリックします。**Intel WIntel ワイヤレスディスプレイ** ウィンドウが表示されます。
2. **既存のアダプターに接続**を選択します。

メモ：Intel ワイヤレスディスプレイ接続マネージャーの最新ドライバーは、**support.dell.com** からダウンロードし、インストールできます。

メモ：ワイヤレスディスプレイに関する詳細は、ワイヤレスディスプレイアダプターに付属のマニュアルを参照してください。

DVI (Digital Visual Interface) コネクターケーブル

コンピューターとディスプレイに対応するコネクターに応じて、適切なケーブルを使用します。以下の表を参照して、お使いのコンピューターとディスプレイのコネクターを確認してください。

コンピューターのコネクター	ディスプレイのコネクター	必要なケーブル
DVI-D	DVI-D	DVI-D ケーブル
	DVI-I	DVI-D ケーブル
	DVI-A	DVI-D から VGA へのコンバーター
	VGA	DVI-D から VGA へのコンバーター
	HDMI	DVI-D-HDMI ケーブル
DVI-A	DVI-D	VGA から DVI-D へのコンバーター
	DVI-I	DVI-A ケーブル
	DVI-A	DVI-A ケーブル
	VGA	DVI-VGA ケーブル
DVI-I	DVI-D	DVI-D ケーブル
	DVI-I	DVI-I ケーブル
	DVI-A	DVI-A ケーブル
	VGA	DVI-VGA ケーブル
	HDMI	DVI-D-HDMI ケーブル

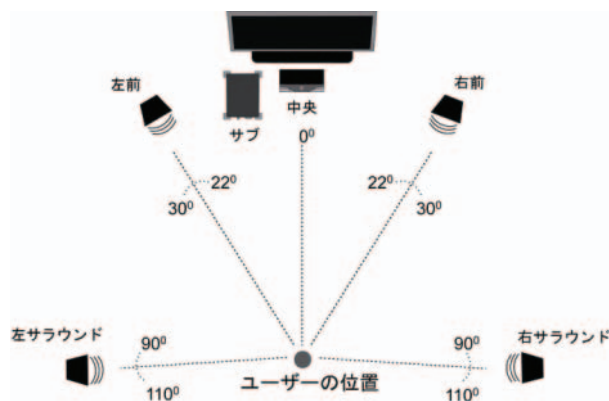
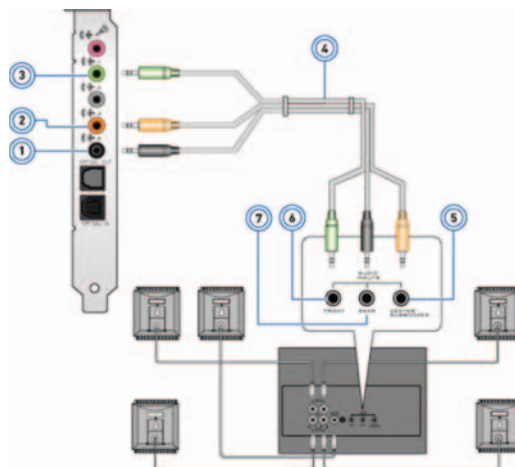
メモ：単一ディスプレイを接続する場合は、ディスプレイを接続するコンピューターのコネクターは 1 つにのみにしてください。

1. コンピューターの電源を切ります。
2. ディスプレイの電源を切り、電源からケーブルを取り外します。
3. ディスプレイケーブルの端をコンピューターの DVI ポートに接続します。
4. ケーブルのもう一方の端をディスプレイ側の同じコネクターに接続します。
5. 必要に応じて、電源ケーブルの一方の端をディスプレイの電源コネクターに接続します。

6. 電源ケーブルのもう一方の端をディスプレイの 3 極電源タップまたは壁のコンセントに接続します。
7. コンピューターの電源を入れた後、ディスプレイの電源を入れます。

オーディオ

5.1 オーディオをセットアップする

5.1 オーディオは、以下の図のようにスピーカーが配置されている場合、最も効果的です。

以下の表を参照して、5.1 スピーカーをコンピューターに接続します。

1	コンピューターの後部オーディオコネクター	5	スピーカーのセンター/LFE サラウンド
2	コンピューターのセンター/LFE サラウンド	6	スピーカーの前面オーディオコネクター
3	コンピューターの前面オーディオコネクター	7	スピーカーの後部オーディオコネクター
4	5.1 チャネルオーディオケーブル		

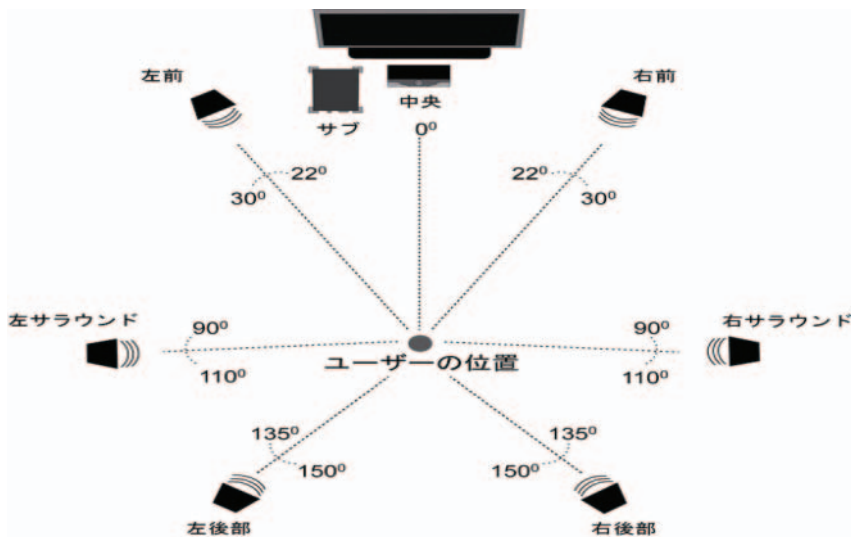
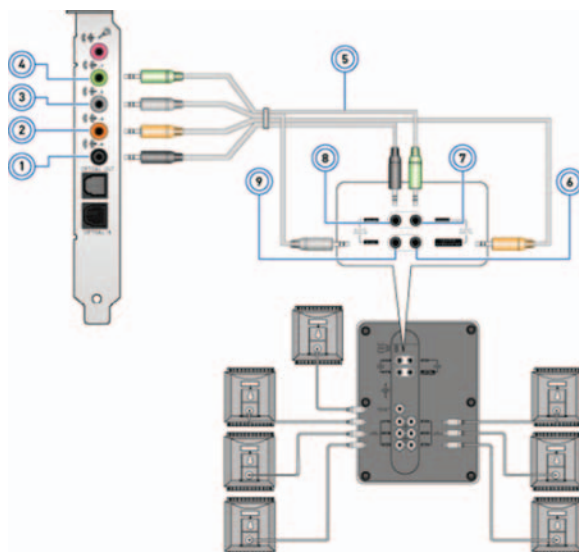
スピーカーをセットアップするには：

Windows 7 および Windows Vista の場合

1. **スタート** →**コントロールパネル**→ **ハードウェアとサウンド**→ **サウンド**をクリックします。
2. **スピーカー**を選択し、**設定**をクリックします。**スピーカーのセットアップ**ウィンドウが表示されます。
3. **オーディオチャネル：**の下にあるスピーカー設定を選択し、**テスト**をクリックします。両方のスピーカーからトーンが聞こえるはずです。
4. **次へ**をクリックします。
5. 画面の指示に従います。

コンピューターのサウンドに問題が発生した場合は、**support.dell.com** でナリッジベース記事 266424 を参照してください。

7.1 オーディオをセットアップする

7.1 オーディオは、以下の図のようにスピーカーが配置されている場合、最も効果的です。

以下の表を参照して、7.1 スピーカーをコンピューターに接続します。

1	コンピューターの後部オーディオコネクター	6	スピーカーのセンター/LFE サラウンド
2	コンピューターのセンター/LFE サラウンド	7	スピーカーの前面オーディオコネクター
3	コンピューターのサイドオーディオコネクター	8	スピーカーの後部オーディオコネクター
4	コンピューターの前面オーディオコネクター	9	スピーカーのサイドオーディオコネクター
5	7.1 チャネルオーディオケーブル		

スピーカーをセットアップするには：

Windows 7 および Windows Vista の場合

1. **スタート** → **コントロールパネル**→ **ハードウェアとサウンド**→ **サウンド**をクリックします。
2. **スピーカー**を選択し、**設定**をクリックします。

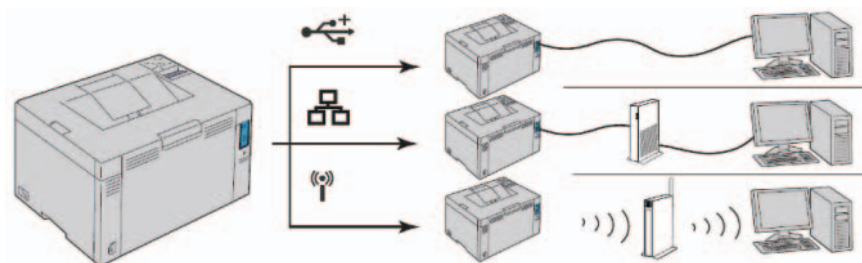
   スピーカーのセットアップウィンドウが表示されます。
3. **オーディオチャネル：**の下にあるスピーカー設定を選択し、**テスト**をクリックします。

   両方のスピーカーからトーンが聞こえるはずです。

4. **次へ**をクリックします。
5. 画面の指示に従います。

コンピューターのサウンドに問題が発生した場合は、**support.dell.com** でナリッジベース記事 266424 を参照してください。

プリンターをセットアップする

1 台または複数のプリンターをお使いのコンピューターに接続したり、1 台または複数のコンピューターをお使いのプリンターに追加することができます。

プリンターの追加

1. Windows 7 では、**スタート** → **デバイスとプリンター**をクリックします。Windows Vista では、**スタート** → **コントロールパネル**→ **ハードウェアとサウンド**→ **プリンター**をクリックします。
   Windows XP では、**スタート** → **コントロールパネル**→ **プリンターなどのハードウェア**→ **プリンターと FAX** をクリックします。
2. **プリンターの追加**をクリックします。**プリンターの追加ウィザード**が表示されます。
3. **プリンターの追加ウィザード** 画面の指示に従います。

   メモ：プリンターを追加している間に、プリンタードライバーのインストールが指示される場合があります。プリンターに同梱されていたプリンタードライバメディアをオプティカルドライブに挿入し、画面の指示に従います。

Web カメラをセットアップする

Web カメラをセットアップするには：

Web カメラは、ノートパソコンのディスプレイ、またはコンピューターと同時に購入した外付けディスプレイに内蔵されています。	ドライバーやソフトウェアは、コンピューターを受け取った段階で取り付け済みです。コンピューター付属のメディアは、ドライバーやソフトウェアの再インストール時のみ使用します。
外付け Web カメラ	Web カメラ付属のメディアを使用して、Web カメラの機能をフルに活用するのに必要なドライバーやソフトウェアをインストールしてください。詳細については、Web カメラに付属のマニュアルを参照してください。

USB ワイヤレスアダプターをインストールする

メモ：ワイヤレスアダプターのモデルによっては、操作手順が異なる場合があります。詳しい操作手順については、ワイヤレスアダプター付属のマニュアルを参照してください。

1. USB ワイヤレスアダプター付属のソフトウェアをインストールします。
   a. オプティカルディスクをコンピューターのオプティカルドライブに挿入します。
   b. 自動的にインストールが開始しない場合は、**スタート**→**実行**を選択し、続いて `x:\setup.exe` と入力します（x はオプティカルドライブのドライブ文字）。
   c. 画面の指示に従います。
2. コンピューターをシャットダウンします。
3. USB ケーブルの端を USB ワイヤレスアダプターに接続します。
4. USB ケーブルのもう一方の端をコンピュータの USB コネクターに接続します。
5. コンピューターの電源を入れます。

コンピューターは自動的にワイヤレスアダプターを検出し、ソフトウェアを設定します。

コンピューターの使い方

バッテリー

ノートパソコンのバッテリーを充電する

コンセントに取り付けたバッテリーとコンピューターを接続すると、コンピューターはバッテリーの充電と温度をチェックします。その後、AC アダプターは必要に応じてバッテリーを充電し、その充電量を保持します。

メモ：AC アダプターは、コンピューターの電源が切れている間も、バッテリーを充電します。バッテリーの内部回路は、バッテリーの過充電を防ぎます。

バッテリーがコンピューターの使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、コンピューターをコンセントに接続してもバッテリーが充電されない場合があります。

メモ：バッテリーの充電中でもコンピューターを操作できます。

ノートパソコンのバッテリーに関する FAQ（よくある質問）については、**support.dell.com** で記事 ID 405686 を参照してください。

バッテリーパフォーマンスを向上する

充電を保持できるバッテリーの駆動時間は、ノートパソコンの使用方法によって異なります。

以下を使用することにより、バッテリーの駆動時間を大幅に減らすことができます。

- オプティカルドライブ。
- ワイヤレス通信デバイス、ExpressCard、メディアカード、または USB デバイス。
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または複雑な3Dグラフィックアプリケーションやゲームなどの電力を集中的に使用するプログラム。

以下の方法でバッテリーパフォーマンスを向上することができます。

- 可能な場合は、AC 電源でコンピューターを操作します。バッテリーが放電し、再充電された回数によって、バッテリーの駆動時間が減少します。
- Microsoft Windows Power Options（電源オプション）を使用して、電源管理を設定し、コンピューターの電力使用量を最適化します（電力の管理を参照）。
- コンピューターのスリープ/スタンバイ、およびはいバーネーション機能を有効にします。

メモ：バッテリーの使用頻度や使用状況により、バッテリーの寿命は時間と共に減少します。

Dell デスクトップモード

Dell 長寿モード機能は、お使いのラップトップバッテリーの状態を保護することができます。

バッテリーを完全に放電させずにコンピューターを頻繁に電源に接続したり取り外したりすると、バッテリーの寿命が短くなる場合があります。長寿モード機能は、お使いのバッテリーが充電する程度を抑えることによりバッテリーの状態を保護し、バッテリーの頻繁な充電および放電サイクルを回避します。

Dell ラップトップは、バッテリーの充電および放電動作を自動的にモニターし、当てはまる場合に長寿モードを有効にするよう要求するメッセージが表示されます。

メモ：お使いのノートパソコンのバッテリーでは、Dell 長寿モードをサポートしていない場合もあります。

長寿モードを有効または無効にするには:

1. Windows 通知領域にあるバッテリーアイコンを右クリックしてから、**Dell 長寿命バッテリーオプション**をクリックします。
   バッテリーメーターダイアログボックスが表示されます。
2. **長寿モード**タブをクリックします。
3. 環境設定に合わせて、**有効にする**または**無効にする**をクリックします。
4. **OK** をクリックします。

メモ：長寿モードが有効の場合、バッテリーは容量の 88 ～ 100 パーセントの間でしか充電しません。

Dell デスクトップモード

Dellデスクトップモード機能は、お使いのラップトップバッテリーの状態を保護することができます。

A/C 電源コンセントに接続してお使いのコンピューターを継続的に電源投入すると、バッテリーの寿命が短くなる場合があります。デスクトップモード機能は、お使いのバッテリーが充電する程度を抑えることによりバッテリーの状態を保護し、使用していないときのバッテリーを保護します。

Dellラップトップは、バッテリーの充電および放電動作をモニターし、当てはまる場合にデスクトップモードを有効にするよう要求するメッセージが表示されます。

メモ：お使いのノートパソコンのバッテリーでは、Dell デスクトップモードをサポートしていない場合もあります。

デスクトップモードを有効または無効にするには:

1. Windows 通知領域にあるバッテリーアイコンを右クリックしてから、**Dell 長寿命バッテリーオプション**をクリックします。**バッテリーメーター**ダイアログボックスが表示されます。
2. **デスクトップモード**タブをクリックします。
3. 環境設定に合わせて、**有効にする**または**無効にする**をクリックします。
4. **OK** をクリックします。

メモ：デスクトップモードが有効の場合、バッテリーは容量の50～100パーセントの間でしか充電しません。

キーボード

一般的なキーボードショートカット

<Ctrl><Shift><Esc>	**タスクマネージャー**ウィンドウを開きます。
<Fn><F8>	現在使用可能なすべてのディスプレイオプション（たとえば、ディスプレイのみ、外付けモニタまたはプロジェクタのみ、ディスプレイとプロジェクタの両方など）を示すディスプレイアイコンを表示します。目的のアイコンをハイライト表示して、画面をそのオプションに切り替えます。
<Fn> と上矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を上げます。
<Fn> と下矢印キー	内蔵ディスプレイのみの輝度を下げます（外付けディスプレイには適用されません）。
<Fn><Esc>	省電力モードを起動します。キーボードのショートカットを再プログラムして、異なる電力管理モードを有効にできます。この場合、**電力オプションプロパティ**ウィンドウの**詳細**タブを使用します。
<F2>	選択したアイテムの名前を変更します。
<F3>	ファイルまたはフォルダを検索します。
<F4>	Windows エクスプローラのアドレスバーのリストを表示します。
<F5>	アクティブなウィンドウを更新します。

<F6>	ウィンドウ内の、またはデスクトップ上の画面構成要素を順に切り替えます。
<F10>	アクティブなプログラムのメニューバーをアクティブにします。
<Ctrl><c>	選択したアイテムをコピーします。
<Ctrl><x>	選択したアイテムを切り取ります。
<Ctrl><v>	選択したアイテムを貼り付けます。
<Ctrl><z>	操作を元に戻します。
<Ctrl><a>	ドキュメントまたはウィンドウ内のアイテムをすべて選択します。
<Ctrl> + <F4>	アクティブなウィンドウを閉じます（複数のドキュメントを同時に開くことができるプログラム内で）。
<Ctrl><Alt><Tab>	矢印キーを使用して、開いているアイテム間を切り替えます。
<Alt><Tab>	開いているアイテム間を切り替えます。
<Alt><Esc>	開いた順にアイテムが切り替わります。
<Delete>	選択したアイテムを削除し、そのアイテムをごみ箱へ移動します。
<Shift><Delete>	選択したアイテムをごみ箱へ移動せずに削除します。
<Ctrl> と右矢印キー	カーソルを次の単語の最初に移動します。
<Ctrl> と左矢印キー	カーソルを前の単語の最初に移動します。
<Ctrl> と下矢印キー	カーソルを次の段落の最初に移動します。
<Ctrl> と上矢印キー	カーソルを前の段落の最初に移動します。
<Ctrl><Shift> と矢印キー	テキストブロックを選択します。
<Shift> と矢印キー	ウィンドウ内、またはデスクトップ上で複数のアイテムを選択します。または、ドキュメント内のテキストを選択します。
Windows ロゴキーと <m>	開いているすべてのウィンドウを最小化します。

Windows ロゴキーと <Shift><m>	最小化されたウィンドウを元に戻します。このキーの組み合わせは、Windows ロゴキーと <m> キーの組み合わせを使用する度に、最小化されたウィンドウを元に戻すための切り替えとして作動します。
Windows ロゴキーと <e>	Windows エクスプローラが起動します。
Windows ロゴキーと <r>	**ファイルを指定して実行** ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <f>	**検索結果** ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <Ctrl><f>	**検索結果 - コンピューター**ダイアログボックスを開きます（コンピューターがネットワークに接続されている場合）。
Windows ロゴキーと <Pause>	**システムのプロパティ** ダイアログボックスを開きます。

キーボードをカスタマイズする

キーボードは以下のようにカスタマイズすることができます。

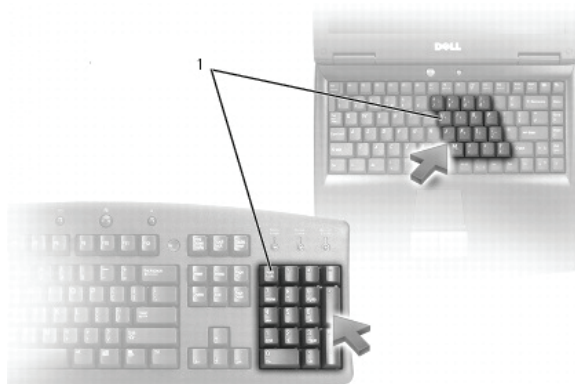
- キーボードの文字が次に連続で表示されるまでの待ち時間の変更
- キーボードの文字が連続で表示される時の速度の変更
- カーソルの点滅速度の変更
- 入力言語に関するキー操作のカスタマイズ

キーボードをカスタマイズするには：

1. **スタート** → **コントロールパネル**→ **キーボード**をクリックします。
2. 変更するキーボードの設定を調整して、**OK** をクリックします。

キーボードの入力言語を変更する

1. **スタート** → **コントロールパネル**→ **地域と言語**をクリックします。
2. **キーボードと言語**タブで、**キーボードの変更**をクリックします。
3. **インストールされているサービス**で、**追加**をクリックします。
4. 追加する言語をクリックし、目的のテキストサービスを選択し、続いて **OK** をクリックします。

ノートブックコンピューターでのテンキーパッドの使い方

1	テンキーパッド

ノートパソコンでは、キーボードにテンキーパッドが統合されている場合があります。このキーパッドは、拡張キーボードのキーパッドと対応しています。

- 数字または記号を入力するには、<Fn>を押したまま、目的のキーを押します。
- テンキーパッドを有効にするには、<Num Lk> を押します。 のライトが点灯すると、キーパッドが有効であることを示しています。
- テンキーパッドを無効にするには、もう一度 <Num Lk> を押します。

タッチパッド

タッチパッドを使用する

タッチパッドを使用して、コンピューターの画面上でカーソルや選択したオブジェクトを動かすことができます。

- カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドさせます。
- 左クリック、またはオブジェクトを選択して、左のタッチパッドボタンまたはタッチパッドの表面を 1 回タップします。
- オブジェクトを右クリックするには、右タッチパッドボタンを 1 回タップします。
- オブジェクトを選択、および移動（またはドラッグ）するには、カーソルをオブジェクトに置き、指を離さずにタッチパッドを 2 回タップします。2 回目のタップの後、指をスライドさせて、選択したオブジェクトを移動します。
- オブジェクトをダブルクリックするには、タッチパッドで 2 度タップするか、左のタッチパッドボタンを 2 度押します。

タッチパッドジェスチャ

メモ：お使いのコンピューターでは、一部のタッチパッドジェスチャをサポートしていない場合もあります。

メモ：コンピューターデスクトップの通知領域にあるタッチパッドアイコンをダブルクリックすることで、タッチパッドジェスチャの設定を変更できます。

お使いのコンピューターでは、**スクロール**、**ズーム**、**回転**、**フリック**、**お気に入り**、**デスクトップジェスチャ**をサポートしている場合があります。

スクロール

コンテンツをスクロールします。スクロールには次のような機能があります。

パン–オブジェクト全体が表示されていない場合、選択したオブジェクトでフォーカスを移動します。

2 本の指を動かしたい方向に動かすと、選択したオブジェクトをパンスクロールします。

縦の自動スクロール – アクティブなウィンドウで上下にスクロールします。

2 本の指をすばやく上下に動かすと、縦の自動スクロールが有効になります。タッチパッドをタップすると、自動スクロールが停止します。

横の自動スクロール – アクティブなウィンドウで左右にスクロールします。

2 本の指をすばやく左右に動かすと、横の自動スクロールが有効になります。タッチパッドをタップすると、自動スクロールが停止します。

円形スクロール – 上下、左右にスクロールします。

上下にスクロールするには：縦のスクロール領域（タッチパッドの右端）で指を動かします。時計回りに円を描くと上へスクロールし、反時計回りに円を描くと下へスクロールします。

左右にスクロールするには：横のスクロール領域（タッチパッドの下端）で指を動かします。時計回りに円を描くと右へスクロールし、反時計回りに円を描くと左へスクロールします。

ズーム

画面コンテンツの表示を拡大/縮小します。

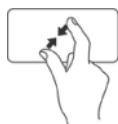
ズームには次のような機能があります。

1 本の指でのズーム – ズームインまたはズームアウトします。

ズームインするには：ズーム領域（タッチパッドの左端）で指を上に動かします。

ズームアウトするには：ズーム領域（タッチパッドの左端）で指を下に動かします。

ピンチ – タッチパッドで 2 本の指を広げたり近づけたりすると、ズームイン/ズームアウトします。

ズームインするには：2 本の指を離すと、アクティブなウィンドウの表示が拡大されます。

ズームアウトするには：2 本の指を近づけると、アクティブなウィンドウの表示が縮小されます。

回転

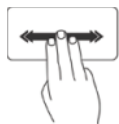
画面上のアクティブなコンテンツを回転させます。回転には次のような機能があります。

ツイスト – 1 本の指を軸とし、もう 1 本の指を回転すると、アクティブなコンテンツは 90 °ずつ回転します。

親指はそのままで、人差し指を左右に弧を描きながら動かすと、選択した項目が 90 °ずつ時計回り/反時計回りに回転します。

フリック

フリックの方向により、コンテンツを次に進めたり前に戻したりします。

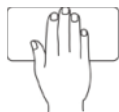
3 本の指を希望する方向にすばやく動かすと、アクティブなウィンドウでコンテンツが次または前に移動します。

お気に入り

お気に入りのアプリケーションを開きます。

タッチパッドを3本指でタップします。タッチパッド設定ツールで設定したアプリケーションが起動します。

デスクトップ

開いているウィンドウをすべて最小化し、デスクトップが見えるようにします。

タッチパッド上の任意の方向に手を置き、しばらくそのままにします。

タッチスクリーン

タッチスクリーンディスプレイを使用する

タッチスクリーン機能を使用すると、コンピューターがインタラクティブなディスプレイに変わります。

タッチスクリーンディスプレイを使用して、以下のような基本的なタスクを実行できます。

- フォルダーまたはアプリケーションをタップ、またはダブルタップして開きます。
- 希望する方向に指をすばやく動かすと、アクティブなウィンドウのコンテンツを本のページのようにめくる動作を行います。
- 2 本指を広げると、アクティブウィンドウの表示を拡大することができます。
- 2 本指を近づけると、アクティブウィンドウの表示を縮小します。
- タッチスクリーンを指で長押しすると、コンテキストに応じたメニューが開きます。
- 指、または親指を固定したまま、左右に弧を描くように別の指を動かすと、アクティブなコンテンツを回転させることができます。

タッチスクリーンディスプレイを使用する

タッチスクリーン機能を使用すると、コンピューターがインタラクティブなディスプレイに変わります。

タッチスクリーンディスプレイを使用して、以下のような基本的なタスクを実行できます。

- フォルダーまたはアプリケーションをタップ、またはダブルタップして開きます。
- 希望する方向に指をすばやく動かすと、アクティブなウィンドウのコンテンツを本のページのようにめくる動作を行います。
- 2 本指を広げると、アクティブウィンドウの表示を拡大することができます。
- 2 本指を近づけると、アクティブウィンドウの表示を縮小します。
- タッチスクリーンを指で長押しすると、コンテキストに応じたメニューが開きます。
- 指、または親指を固定したまま、左右に弧を描くように別の指を動かすと、アクティブなコンテンツを回転させることができます。

ポートとコネクター

オーディオコネクター

オーディオコネクターがあれば、デジタルオーディオ出力用にアンプ、スピーカー、ヘッドフォン、マイク、サウンドシステム、または TV に接続することができます。

オーディオコネクターのタイプ

ヘッドフォンコネクター – ヘッドフォン、電源式スピーカー、またはサウンドシステムを接続します。

マイクコネクター – 音声またはサウンド入力用にパーソナルコンピューターのマイクを接続します。

ライン入力コネクター – カセットプレーヤー、CD プレーヤー、ビデオデッキなどの録画録音/再生機器を接続します。

ライン出力コネクター – ヘッドフォンやアンプ内蔵型スピーカーを接続します。

後部サラウンド出力 – マルチチャネル対応スピーカーを接続します。

センター/LFE サラウンド出力 – シングルサブウーハーを接続します。

メモ：デジタルサラウンドサウンドオーディオ機構にある LFE（低周波エフェクト）オーディオチャネルは、80 Hz 以下の低周波情報のみを伝送します。LFE チャネルはサブウーハーを駆動し、極めて低い音域を拡張します。サブウーハーを使用しないシステムでは、サラウンドサウンドのセットアップで LFE の情報をメインスピーカーに切り替えることができます。

サイドサラウンドサウンドコネクター – 増設スピーカーを接続します。

RCA S/PDIF コネクター – アナログオーディオ変換を行わずにデジタルオーディオを転送します。

オプティカル S/PDIF コネクター – アナログオーディオ変換を行わずにデジタルオーディオを転送します。

5.1 オーディオ

5.1 は、多くのサラウンドサウンド構成におけるオーディオチャネルの数を表しています。5.1 オーディオシステムは、5 個のメインオーディオチャネル（左前部、右前部、中央、左サラウンド、右サラウンド）と低周波オーディオチャネル 1 個を使用しています。

7.1 オーディオ

7.1 は、ハイエンドのサラウンドサウンド構成におけるオーディオチャネルの数を表しています。7.1オーディオシステムは、2つの追加スピーカー（左後部と右後部）を 5.1 オーディオシステムと組み合わせて、使用します。

メモ：コンピューターによっては、5.1または7.1オーディオをサポートしていない場合もあります。

メモ：外付けサウンドカードを取り付けたコンピューターでは、スピーカーをカードのコネクターに接続してください。

USB

USB（ユニバーサルシリアルバス）は、コンピューターと各種デバイスの間の通信を確立させる規格の一つです。USB があれば、周辺機器からコンピューターへの高速接続を実現できます。USB を使用して、マウス、キーボード、プリンター、外付けドライブ、デジタルカメラ、携帯電話などのデバイスを接続できます。また、USB は プラグアンドプレイ のインストールと ホットスワップ にも対応しています。

プラグアンドプレイを使えば、コンピューターを再起動しなくても、デバイスが接続されていることを認識できます。

ホットスワップは、コンピューターを再起動しなくても、各種 USB デバイスを取り外したり、接続することができます。

USB コネクター

ミニ USB – ミニ USB コネクターは、主にデータ接続用の電子デバイスで使用される小型ケーブルコネクターです。カメラ、MP3 プレーヤー、携帯電話などのデバイスは、ミニ USB コネクターを使用します。

マイクロ USB – マイクロ USB コネクターは、ミニ USB コネクターより小さく、コンピューターがなくてもデバイスどうしで直接通信することができます。

USB 規格

USB 3.0 – USB 3.0 は、SuperSpeed（超高速）USB とも呼ばれ、USB 規格の最新バージョンです。前世代の USB 2.0 より 10 倍速い最大 4.8 Gbps のデータ転送スピードをサポートしますが、消費電力は抑えます。USB 3.0 は USB 1.x や USB 2.0 などの旧バージョンの規格と後方互換性を備えています。

デバッグポート – デバッグポートは、トラブルシューティングのためおよび USB オプティカルドライブまたはフラッシュドライブを使って OS のインストールを行う場合に USB 3.0 ポートを USB 2.0 モードで一時的に実行できます。

USB 2.0 – Hi-Speed（高速）USB とも呼ばれ、マルチメディアやストレージアプリケーション用に追加帯域幅を提供します。USB 2.0 は USB 1.1 と比較すると、最大 40 倍のデータ転送スピードを実現します。

USB 1.x – 最大 11 mbps のデータ転送スピードを実現する旧バージョンの USB 規格です。

USB PowerShare – コンピューターの電源が切れているかスリープモードの場合、USB PowerShare 機能で USB デバイスを充電することができます。 アイコンは、USB コネクターが PowerShare 機能をサポートしていることを示します。

メモ：一部の USB デバイスは、コンピューターの電源が切れているかスリープモードの場合は充電できません。この場合、コンピューターの電源を入れて、デバイスを充電してください。

メモ：USB デバイスの充電中にコンピューターの電源を切ると、デバイスの充電が途中で止まります。充電を続行するには、USB デバイスを取り外し、もう一度接続します。

メモ：バッテリーの充電が 10% になると、USB PowerShare 機能による充電は自動的に無効になります。この制限は、セットアップユーティリティで設定変更することができます。

DVI (Digital Visual Interface)

DVI (Digital Visual Interface) は、高解像度のビデオ信号を発信します。DVI を使ってコンピューターをフラットパネルモニターや LCD TV などのディスプレイに接続することができます。

次の 3 種類の DVI コネクターがあります：

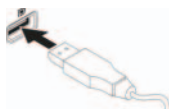
- **DVI-D (DVI-Digital)** – DVI-D はビデオカード（ソース）とデジタルディスプレイのダイレクトデジタル接続に使用します。高速で高画質なビデオ出力を可能にします。
- **DVI-A (DVI-Analog)** – DVI-A は CRT モニターやアナログ LCD などのアナログディスプレイにビデオ信号を送信する際に使用します。
- **DVI-I (DVI-Integrated)** – DVI-I はデジタルどうし、またはアナログどうしで信号を送信する際に使用する統合コネクターです。汎用性が高く、アナログ環境とデジタル環境の両方で使用できます。

DVI-D	DVI-A	DVI-I

DisplayPort/ミニ DisplayPort

DisplayPort は、ロイヤリティーフリーのデジタルオーディオ/ビデオの相互接続を定義するデジタルディスプレイインタフェースです。DisplayPortを使用すれば、コンピューターをディスプレイやホームシアターシステムに接続することができます。

ミニ DisplayPort は DisplayPort の小型バージョンです。Dell Inspiron Mini シリーズコンピューターでは DisplayPort の代わりにミニ DisplayPort を提供しています。

メモ：DisplayPort とミニ DisplayPort はサイズが異なります。DisplayPort をサポートするデバイスをミニ DisplayPort コネクターに接続するには、ミニ DisplayPort と DisplayPort を繋ぐアダプターが必要です。

DisplayPort のメリット

- ネイティブ設定で、高解像度と高リフレッシュレートをサポートしています。
- 3D ステレオ転送をサポートし、ゲーム用インターフェースに最適です。
- DisplayPort ケーブルは、信号ブースターを使わずに、最高 15 メートルまで対応します。
- また、標準ケーブルで最大 10.8 Gbps の帯域幅を実現します。
- ネイティブ設定で、光ファイバーケーブルをサポートしています。
- HDCP のビルトインサポートを備え、Blu-ray Disc 対応です。独自のダイレクトドライブ機能を備えた DisplayPort を使用すると、超薄型でありながら高解像度なパネルと見えないように隠せるセパレートの電子ユニットを実現し、複雑な HDTV のデザインをシンプルにすることができます。
- プラグアンドプレイアダプターをサポートし、DVI、HDMI、VGA など旧式の接続規格を使用したディスプレイにも接続することができます。

HDMI

HDMI (High Definition Multimedia Interface) は、単一のデジタルインタフェースでオーディオ信号とビデオ信号を伝送します。HDMI は、オーディオ/ビデオソース（セットトップボックス、DVD プレーヤー、Blu-ray Disc プレーヤー、コンピューター、ビデオゲーム機など）を互換性のあるデジタルオーディオデバイス（コンピューターやモニター、ビデオプロジェクター、デジタルテレビなど）に接続します。HDMI ケーブルは USB ケーブルに似ており、ソースデバイスのコネクターにスライドさせることができます。

HDMI のメリット

- ビデオまたはオーディオ信号の変換または圧縮によって品質を損なうことなく、高品質のオーディオとビデオを実現します。
- ビデオノイズを大幅に削減し、なめらかでシャープな画像を提供します。サウンドはクリアで、ひずみがありません。
- デジタルインタフェースなので、HDMI は LCD、プラズマ、プロジェクターなどの固定ピクセルディスプレイと互換性があります。

eSATA コネクター

eSATA は、ハードドライブやオプティカルドライブなどの外付け大容量ストレージデバイスをコンピューターに接続するために作られたバステクノロジーです。eSATA は、USB 2.0 や FireWire 800 と比較すると、かなり高いスループットを実現します。eSATA ケーブルは最高 2 メートルまで対応します。

eSATA ポートはスタンドアローンタイプか、eSATA/USB コンボポートの形になっています。

S/PDIF

S/PDIF はデジタル形式でオーディオを転送する場合の規格の 1 つです。

コンピューターの S/PDIF 出力をホームシアター受信装置の S/PDIF 入力に接続します。これにより 5.1 オーディオ（6 チャネルオーディオとも呼ばれる）接続をセットアップすることができます。

S/PDIF 接続には次の 2 種類があります。

- 光 – TOSLINK コネクターを備えた光ファイバーを使ってセットアップされます
- 同軸 – RCA コネクターを備えた同軸ケーブルを使ってセットアップされます

IEEE 1394

IEEE 1394 インタフェースは、シリアルバスインタフェース規格で、コンピューター、周辺機器、ビデオカメラ、VCR、プリンター、TV、デジタルカメラなどの家庭用電化製品の間のシンプルで低コスト、高帯域幅のアイソクロナスデータ交信を可能にします。IEEE 1394 互換の製品やシステムを使用することにより、　画質を損なわずにビデオや静止画像を転送することができます。

特長

- デジタル – デジタル-アナログ-デジタルの変換が必要ないため、良好な信号品質を提供できます。
- 接続性 – 細いシリアルケーブルを提供しますが、100 メートル以上、または CAT5、光ファイバー、同軸ケーブルに拡張することもできます。
- 使いやすい – 特殊ドライバーをロードしたり、複雑なセットアップを実行する必要がありません。

- ホットプラグ対応 – デバイスやコンピューターの電源が入った状態で、デバイスを追加したり、取り外したりできます。
- 柔軟性 – ハブやスイッチがなくても、デイジーチェーンで相互にデバイスを接続することができます。また、複雑な配線を要する分岐、ループ、その他のトポロジーもサポートします。単一の接続で最大 64 個のデバイスをサポートします。
- 高速 – 時間が優先される場合、単一の連続ケーブルまたはバスで、各種スピード（現在、100、200、400、800 MB/秒）のデータ配信をサポートします。高品質なオーディオとビデオアプリケーションを低コストで可能にします。

IEEE 1394 ケーブルのタイプ

4 ピンコネクター

6 ピンコネクター

9 ピンコネクター

USB と IEEE 1394 を比較する

特長	USB	IEEE1394
データ転送速度	USB 1.1：12 Mbps USB 2.0：480 Mbps	IEEE 1394a：400 Mbps IEEE 1394b：800 Mbps
デバイス数	127	63
プラグアンドプレイ	はい	はい
ホットプラグ対応	はい	はい
アイソクロナスデバイス	はい	はい
バスのタイプ	はい	はい
ネットワークトポロジー	ハブ	デイジーチェーン

ネットワーク

ネットワーク

コンピューターネットワークにより、お使いのコンピューターとインターネット、その他のコンピューター、またはプリンターなどの周辺機器間が接続されます。たとえば、自宅または小規模オフィスでネットワークをセットアップすると、次の操作を行うことができます。

- 共有プリンターへの印刷
- その他のコンピューター上のドライブおよびファイルへのアクセス
- ファイルの共有
- その他のネットワークの参照
- インターネットへのアクセス

ブロードバンドモデムおよびネットワークケーブルを使用して、ローカルエリアネットワーク (LAN) をセットアップできます。または、ワイヤレスルーターまたはアクセスポイントを使用して、ワイヤレス LAN (WLAN) をセットアップすることも可能です。

ネットワーク接続ウィザードは、コンピューターネットワークのセットアップおよびその他のネットワークへの接続処理をガイドします。詳細については、ネットワークをセットアップするを参照してください。

ローカルエリアネットワーク (LAN)

ローカルエリアネットワーク (LAN) では、互いに接続されているネットワークケーブルを介して、2 台以上のコンピューターを接続します。このタイプのコンピューターネットワークは、一般的に狭い範囲に適用されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN（ワイドエリアネットワーク）を構成できます。

ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN)

ワイヤレス LAN (WLAN) では、ネットワークケーブルを互いに接続するのではなく電波を介して、複数のコンピューター間とインターネットを接続します。

ワイヤレス LAN では、無線通信デバイス（アクセスポイントまたはワイヤレスルーター）により、ネットワークコンピューターおよび周辺機器を接続し、インターネットやネットワークへのアクセスを提供します。アクセスポイントまたはワイヤレスルーターとコンピューター内のワイヤレスネットワークカードは、電波を介して各自のアンテナからデータをブロードキャストして通信します。

ワイヤレスワイドエリアネットワーク (WWAN)

ワイヤレス WAN (WWAN) は、モバイルブロードバンドネットワークとも呼ばれ、WLAN よりも広い範囲のインターネットアクセスを可能にする高速デジタル携帯ネットワークです。通常、100 から 1,000 フィートのエリアをカバーします。お使いのコンピューターが携帯電話データのサービスエリア内にある限り、モバイルブロードバンドネットワークへのアクセスを維持できます。サービスエリアの詳細に関しては、ご利用の携帯電話/インターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。

ワイヤレスパーソナルエリアネットワーク (WPAN)

ワイヤレス PAN (WPAN) は、パーソナルな作業スペースの中心でワイヤレスデバイスを相互接続します。WPAN テクノロジは、短距離での通信をサポートします。新しい標準 IEEE802.15 の基礎として使用されている Bluetooth は、WPAN の一例です。

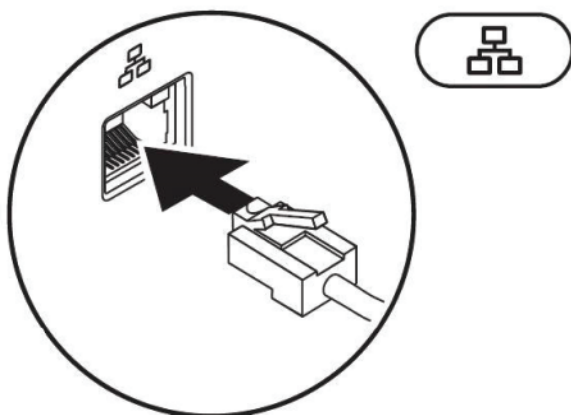
WiMAX (worldwide interoperability for microwave access)

WiMAX は、標準に基づく電気通信テクノロジーで、ワイヤレスデータを提供します。WiMAX では、ケーブルや DSL のような有線ブロードバンドの代わりとして、ラストマイルブロードバンドアクセスの提供が可能です。IEEE 802.16 標準に基づく WiMAX は、Wireless MAN とも呼ばれ、基地局との直接的な見通し内環境を必要とせずに固定接続およびポータブル接続を実現します。モバイルワイヤレスブロードバンドは、近い将来サポートされることが見込まれています。

ネットワークをセットアップする

有線ネットワークをセットアップする

有線ネットワークに接続するには：

1. ネットワークケーブルを接続します。

2. 外付けモデムまたはネットワーク接続、および ISP（インターネットサービスプロバイダ）を使って、インターネットに接続します。コンピューターの購入時に、外付け USB モデム、または WLAN アダプターを注文しなかった場合は、**dell.com** から購入できます。

ワイヤレスネットワークをセットアップする

ワイヤレスネットワークに接続するには：

1. コンピューターでワイヤレスを有効にします。
2. インターネットに接続するには、外付けワイヤレスモデムまたはネットワーク接続、および ISP（インターネットサービスプロバイダ）が必要です。コンピューターの購入時に、外付けワイヤレスモデム、または WLAN アダプターを注文しなかった場合は、**dell.com** から購入できます。

インターネット接続のセットアップ

ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。居住する国で使用可能なオプションについては、ISP にお問い合わせください。

過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

ご契約の ISP 情報をご用意ください。ISP に登録していない場合は、**インターネットに接続する**ウィザードを利用すると簡単に登録できます。

インターネット接続をセットアップするには：

画面の指示に従って、ISP から提供されたセットアップ情報を使用してセットアップを完了します。

Windows 8

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 画面の右端からスワイプし（またはマウスを使用している場合は、画面の右上隅をポイントし）、**検索** をクリックします。
3. **設定**をクリックします。
4. 検索ボックスにネットワークと共有センターと入力し、<Enter> を押します。**ネットワークと共有センター**→ **新しい接続またはネットワークのセットアップ**→ **インターネットへの接続**をクリックします。**インターネットへの接続**ウィンドウが表示されます。

   メモ：どの接続タイプを選択すべきか分からない場合は、**選択についての説明を表示します**をクリックするか、ご契約の ISP にお問い合わせください。

5. 画面の指示に従って、ISP から提供されたセットアップ情報を使用してセットアップを完了します。

Windows 7 および Windows Vista の場合

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. スタート をクリックし、検索ボックスにネットワークと入力し、続いて**ネットワークと共有センター**→ **新しい接続またはネットワークのセットアップ**→ **インターネットへの接続**をクリックします。**インターネットへの接続**ウィンドウが表示されます。

   メモ：どの接続タイプを選択すべきか分からない場合は、**選択についての説明を表示します**をクリックするか、ご契約の ISP にお問い合わせください。

LAN（ローカルエリアネットワーク）をセットアップする

次の手順は、LAN をセットアップするための一般的なガイドラインです。

- インターネットアクセスが設定されているケーブルまたは DSL ブロードバンドモデム
- ルーター – ルーターは、ネットワーク上のコンピューターと周辺機器を互いに接続します。それにより、コンピューターでは、ブロードバンドモデムを介してインターネットアクセスを共有することが可能です。ルーターには複数のポートが装備されており、コンピューターまたはプリンタなどの周辺機器 1 台に対し 1 つのポートを使用します。お使いのルーターに必要なソフトウェアをインストールします。ルーターには、インストールメディアが同梱されている場合があります。そのメディアには、通常インストールおよびトラブルシューティングの情報が含まれています。ルーター製造元から提供される手順に従って、必要なソフトウェアをインストールします。
- ネットワークケーブル – CAT 5 または CAT 5e ケーブルのいずれかを使用します。
- ネットワークインタフェースカード

有線インターネット接続をセットアップする

- ダイヤルアップ接続を使用する場合は、電話線を外付け USB モデム（オプション）と壁の電話ジャックに接続してから、インターネット接続をセットアップします。
- DSL またはケーブル（衛星）モデム接続を使用している場合、セットアップの手順についてはご契約の ISP または携帯電話サービスにお問い合わせください。

WLAN をセットアップするには：

Windows 8

1. 有線インターネット接続をセットアップします。詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
2. 画面の右端からスワイプし（またはマウスを使用している場合は、画面の右上隅をポイントし）、**検索** をクリックします。
3. **設定**をクリックします。
4. 検索ボックスにネットワークと共有センターと入力し、<Enter> を押します。**ネットワークと共有センター→ 新しい接続またはネットワークのセットアップ→ インターネットへの接続**をクリックします。**インターネットへの接続**ウィンドウが表示されます。
5. 画面の指示に従います。

Windows 7 および Windows Vista の場合

1. 有線インターネット接続をセットアップします。詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
2. **スタート** をクリックし、検索ボックスにネットワークと入力し、続いて**ネットワークと共有センター→ 新しい接続またはネットワークのセットアップ→ インターネットへの接続**をクリックします。**インターネットへの接続**ウィンドウが表示されます。
3. 画面の指示に従います。

WLAN（ワイヤレスローカルエリアネットワーク）をセットアップする

WLAN をセットアップするための一般的な要件は以下の通りです。

- ブロードバンドインターネット接続（ケーブルまたは DSL など）
- ブロードバンドモデム
- ワイヤレスルーター
- ワイヤレスネットワークアダプター（ワイヤレス LAN に接続する各コンピューターに必要）
- ネットワーク (RJ-45) コネクター搭載のネットワークケーブル

WLAN をセットアップするには：

Windows 8

1. ワイヤレスルーターをセットアップします。ワイヤレスルーター付属のマニュアルを参照してください。
2. 画面の右端からスワイプし（またはマウスを使用している場合は、画面の右上隅をポイントし）、続いて**検索** をクリックします。

3. **設定**をクリックします。
4. 検索ボックスにネットワークと共有センターと入力し、<Enter> を押します。**ネットワークと共有センター**→ **新しい接続またはネットワークのセットアップ**→ **インターネットへの接続**をクリックします。**インターネットへの接続**ウィンドウが表示されます。
5. 画面の指示に従います。

Windows 7 および Windows Vista の場合

1. ワイヤレスルーターをセットアップします。ワイヤレスルーター付属のマニュアルを参照してください。
2. **スタート** をクリックし、検索ボックスにネットワークと入力し、続いて**ネットワークと共有センター**→ **新しい接続またはネットワークのセットアップ**→ **インターネットへの接続**をクリックします。**インターネットへの接続**ウィンドウが表示されます。
3. 画面の指示に従います。

お使いのワイヤレスネットワークカードの確認

メモ：お使いのコンピューターにワイヤレスネットワークカードが取り付けられているか確認し、カードのタイプを判断するには、コンピューターを注文した際に受け取った注文情報をチェックします。

Windows 8

1. 画面の右端からスワイプし（またはマウスを使用している場合は、画面の右上隅をポイントし）、**検索** をクリックします。
2. **設定**をクリックします。
3. 検索ボックスにデバイスマネージャーと入力し、<Enter> を押します。**デバイスマネージャー**ウィンドウが表示されます。
4. **ネットワークアダプター**を展開します。

Windows 7 および Windows Vista の場合

1. **スタート** をクリックし、**マイコンピューター**を右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
2. **タスク**で**デバイスマネージャー**をクリックします。
3. **ネットワークアダプター**を展開します。

有線インターネット接続をセットアップする

ダイヤルアップ、DSL、ケーブル/衛星モデムを使用して、有線インターネット接続をセットアップすることができます。

- ダイヤルアップ接続を使用する場合は、電話線を外付け USB モデム（オプション）と壁の電話ジャックに接続してから、インターネット接続をセットアップします。

- DSL またはケーブル（衛星）モデム接続を使用している場合、セットアップの手順についてはご契約の ISP（インターネットサービスプロバイダー）または携帯電話サービスにお問い合わせください。

メモ：ISP や ISP が提供するものは国により異なる場合があります。居住する国で使用可能なオプションについては、ISP にお問い合わせください。

ご契約のISP情報をご用意ください。ISPに登録していない場合は、**インターネットに接続する**ウィザードを利用すると簡単に登録できます。

有線インターネット接続をセットアップするには：

Windows 8

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 画面の右端からスワイプし（またはマウスを使用している場合は、画面の右上隅をポイントし）、**検索** をクリックします。
3. **設定**をクリックします。
4. 検索ボックスにネットワークと共有センターと入力し、<Enter> を押します。**ネットワークと共有センター**→ **新しい接続またはネットワークのセットアップ**→ **インターネットへの接続**をクリックします。**インターネットへの接続**ウィンドウが表示されます。

   メモ：どの接続タイプを選択すべきか分からない場合は、**選択についての説明を表示します**をクリックするか、ご契約の ISP にお問い合わせください。
5. 画面の指示に従って、ISP から提供されたセットアップ情報を使用してセットアップを完了します。

Windows 7 および Windows Vista の場合

1. **スタート** をクリックし、検索ボックスにネットワークと入力し、続いて**ネットワークと共有センター**→ **新しい接続またはネットワークのセットアップ**→ **インターネットへの接続**をクリックします。**インターネットへの接続**ウィンドウが表示されます。

   メモ：どの接続タイプを選択すべきか分からない場合は、**選択についての説明を表示します**をクリックするか、ご契約の ISP にお問い合わせください。
2. 画面の指示に従って、ISP から提供されたセットアップ情報を使用してセットアップを完了します。

過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

ワイヤレスインターネット接続をセットアップする

メモ：ワイヤレスルーターをセットアップするには、ルーター付属のマニュアルを参照してください。

ワイヤレスインターネット接続を使用する前に、コンピューターをワイヤレスルーターに接続してください。

Windows 8

1. お使いのコンピューターがワイヤレス接続に対応していることを確認してください。
2. チャームバーを開きます。
3. チャーム設定を選択します。
4. ネットワークアイコンを選択します。
5. 接続するネットワークをクリックします。
6. ネットワークキーを入力します。
7. ファイルの共有をオン/オフにします。

メモ：実際の手順は、お使いのコンピューターにインストールされているオペレーティングシステムによって異なる場合があります。

Windows 7

Microsoft Windows 7 または Windows Vista でワイヤレスルーターへの接続をセットアップするには：

1. お使いのコンピューターがワイヤレス接続に対応していることを確認してください。
2. **スタート** をクリックし、検索ボックスにネットワークと入力し、続いて**ネットワークと共有センター**→ **新しい接続またはネットワークのセットアップ**→ **インターネットへの接続**をクリックします。**インターネットへの接続**ウィンドウが表示されます。
3. 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

ソフトウェアとアプリケーション

Computrace

Computrace について

Computrace は、持ち主が変更されたり、組織内で移動された場合、コンピューターを追跡します。盗難を防ぐと同時に、盗難や紛失の被害にあったコンピューターを復元することができます。

Computrace 対応でインターネットアクセスが可能なコンピューターは、定期的にComputrace サーバーと通信し、システム情報や場所、ユーザー ID をレポートします。

Computrace は以下のパッケージと機能を提供します：

Complete	Absolute Track	Plus	Lo/ノートパソコン用ジャック
アセットの目録作成	コンピューターハードウェアを追跡	盗難されたコンピューターの現在地を検索	個人向け（家庭およびホームオフィス用）
安全なアセット追跡	一元化されたリース情報	リースを追跡	盗難から保護
盗難の被害に遭ったコンピューターを追跡	ソフトウェアインベントリ	紛失を調査	隠しソフトウェアを使って検索
盗難防止	ライセンスコンプライアンス	盗難防止	30日以内に復元
リモートでデータを削除			

 メモ：コンピューターによっては、Computrace をサポートしていない場合もあります。

Computrace を有効にする

1. コンピューターの電源を入れます（または再起動します）。
2. DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   メモ：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピューターをシャットダウンして、操作をやり直してください。
3. **セキュリティ**タブを選択し、続いて **Computrace(R)** を選択します。
4. Computrace オプションを有効にする場合は**有効**、無効にする場合は **無効**を選択します。

   メモ：一度 BIOS 設定の Computrace オプションを有効、または無効にすると、この設定を変更することはできなくなります。これで、第三者がこのオプションを有効にしたり、無効にすることができなくなります。

   メモ：Computrace ソフトウェアでコンピューターを保護するには、Windows にソフトウェアをインストールする必要があります。

Computrace のヘルプを表示する

デルでは Absolute Software 経由で Computrace ヘルプを提供しています。以下の項目に関する問題については、Absolute Software にお問い合わせください：

- 設定
- インストール
- 問い合わせ方法
- エラーメッセージ

Absolute Software に問い合わせるには：

- 参照：**www.absolute.com**
- 電子メールアドレス：**techsupport@absolute.com**
- 電話：**888-999-9857**

My Dell Downloads

My Dell Downloads はソフトウェアリポジトリで、コンピューターにインストール済みまたは購入済みで、メディア形式で受け取っていないソフトウェアをダウンロードし、インストールすることができます。

メモ：My Dell Downloads が使用できない地域もあります。

メモ：My Dell Downloads にアクセスするには登録が必要です。

My Dell Downloads では以下の操作が可能です：

- システムに付属していたソフトウェアをすべて表示する。
- 所有するソフトウェアをダウンロードし、インストールする。
- My Dell Downloads アカウントのパスワードを変更する。
- デルサポートサイトから MyDellDownloads アカウントにアクセスする。

My Dell Downloads を登録して使用するには：

1. **DownloadStore.dell.com/media** にアクセスします。
2. 画面の指示に従って登録し、ソフトウェアをダウンロードします。
3. ソフトウェアを再インストールするか、今後使用するためのバックアップメディアを作成します。

マイデルサポートセンター

マイデルサポートセンターは、システムツールと診断のためのワンストップコントロールパネルです。オンラインツール、デルテクニカルサポートリンク、デルカスタマーサポートチャネル、デバイスマネージャー、ネットワーク接続、システムアラート、パフォーマンス改善サービス、保証およびシステム情報、およびその他のデルツールおよび診断サービスへのリンクへアクセスできます。

ダウンロードまたはデルサポートセンターのアップグレード

ダウンロードまたはマイデルサポートセンターの最新バージョンにアップグレードするには、**dell.com/dellsupportcenter** を参照してください。

メモ：マイデルサポートセンターのインストール中にプロンプトが表示されたら、インターネットからソフトウェアをダウンロードすることをお勧めします。

スタート画面のこのタイルをタッチまたはクリックして、マイデルサポートセンターを起動します。

マイデルサポートセンターのコントロールパネルには、お使いのコンピューターのモデル番号、サービスタグ、エクスプレスサービスコード、保証ステータス、パフォーマンス向上に関するアラートが表示されています。

コントロールパネルには、次の項目にアクセスするリンクもあります。

PC Checkup（PC チェックアップ） – ハードウェア診断を実行する、ハードドライブのメモリ占有率の高いプログラムをチェックする、コンピューターに発生する変更箇所を追跡する、などさまざまな操作が実行できます。

PC Checkup ユーティリティ

- **Drive Space Manage（ドライブスペースマネージャー）** –各種類のファイルで消費されているスペースを視覚的に表示し、ハードドライブを管理します。
- **Performance and Configuration History（パフォーマンスと設定履歴）** – システムイベントおよび経時的変更を監視します。このユーティリティは、すべてのハードウェアスキャン、テスト、システムの変更箇所、クリティカルなイベント、発生日における復元ポイントなどの情報を表示します。
  - **Detailed System Information（詳細システム情報）** –お使いのハードウェアとオペレーティングシステム構成に関する詳細情報、サービスの問い合わせ先へのアクセスコピー、保証情報、保証更新オプションを表示します。
  - **Get Help（ヘルプ表示）** –デルテクニカルサポートオプション、カスタマーサポート、ツアーとトレーニング、オンラインツール、オーナーズマニュアル、保証情報、FAQ（よくある質問）を表示します。
  - **Backup and Recovery（バックアップとリカバリ）** – システム回復ツールにアクセスします。ここでは次のことが可能です。
    - ハードドライブに Dell Factory Image Restore（出荷時のイメージの復元）を作成。
    - バックアップおよびリカバリディスクまたは USB フラッシュドライブを作成します。
  - **System Performance Improvement Offers（システムパフォーマンス改善サービス）** – システムパフォーマンスの向上に役立つソフトウェアやハードウェアソリューションを入手します。

デルサポートセンターの詳細、および利用可能なサポートツールのダウンロードとインストールの詳細については、**dell.com/dellsupportcenter** を参照してください。

ソリューションステーション

ソリューションステーションは、コンピューター構成、メンテナンス、ネットワークのセットアップとサポート、ホームエンターテインメントのインストールを提供するプレミアサポートサービスがすべてがそろうワンストップショップです。

自分のニーズに合わせて、次のサポートカテゴリからいずれかを選択します。**電話サポート、オンサイトサポート（訪問サポート）、またはオンラインサービス。**

主要なサービスは、コンピューターを最適化してスピードアップする無料の PC 状態チェック、一般的なエラーや問題のトラブルシューティング、ウィルスとスパイウェア除去、ワイヤレスネットワークのセットアップなどです。また、よくあるトラブルに関する記事や FAQ の他、コンピューターを TV やホームネットワークに接続する際の手順なども用意されています。

サポートカテゴリでは、柔軟な価格設定を提供すると同時に、さまざまなレベルでお客様に問題解決に関わっていただくことができます。

ソリューションステーションのサービス内容

タイプ	サービス内容
コンピューターのセットアップとサポート	新しいコンピューターのセットアップ ファイル転送またはデータバックアップサービス インターネットと電子メールのセットアップ ソフトウェアのインストール コンピューターアクセサリのセットアップ Windows オペレーティングシステムのインストール ウィルスとスパイウェアの除去 ウィルス対策ソフトのインストール インターネットペアレンタルコントロール 無料 PC 状態チェック
コンピューターメンテナンスとセキュリティ	コンピューターのスピードアップ：ベーシック コンピューターのスピードアップ：アドバンス コンピューターのスピードアップ：プレミア 内蔵ハードウェアのアップグレード コンピューターエラーと問題のトラブルシューティング 新しいワイヤレスネットワークのセットアップ
ワイヤレスのセットアップとサポート	デバイスを既存のワイヤレスネットワークに接続する ネットワークエラーと問題のトラブルシューティング プロフェッショナル TV 取り付け – スタンド プロフェッショナル TV 取り付け – 壁掛け
TV とホームシアターのセットアップ	プロフェッショナル TV とホームシアター取り付け ホームシアター取り付け リモートコントロールプログラミング

メモ：ソリューションステーションはあらゆる技術ブランドに関するヘルプを提供します。

Dell QuickSet

Dell QuickSet ユーティリティは、Dell コンピューターの機能を強化するソフトウェアアプリケーションのスイートです。このソフトウェアにより、通常さまざまな手順が必要な機能に容易にアクセスできます。主な機能は次のとおりです。

- キーボードのショートカットで明るさやオーディオをコントロール
- 電力管理コントロール
- バッテリ情報
- アイコンのサイズ変更
- ワイヤレスのオン/オフ

インストール

Dell QuickSet ユーティリティは新しい Dell コンピューターではプレインストールされています。また、PC の復元ユーティリティなどのアプリケーションを使って復元することもできます。どちらの選択肢もない場合は、**support.dell.com** からソフトウェアをダウンロードできます。

NVIDIA 3DTV Play

お使いのコンピューターにインストールされた NVIDIA 3DTV Play アプリケーションがあれば、3D ゲームをプレイする、Blu-ray 3D ビデオを見る、3D フォトをブラウズする、などさまざまな操作が実行できます。

3D ゲーム

NVIDIA 3D Vision でサポートされているゲームは、NVIDIA 3DTV Play アプリケーションでもサポートされています。サポートされている 3D ゲームのリストについては、**www.nvidia.com** をご覧ください。

3D でゲームをプレイする

1. フルスクリーンモードでゲームを起動します。
2. 現在のモードは HDMI 1.4 と互換性がないというメッセージが表示されたら、ゲーム中の解像度を HD 3D モードで 720p、1280x720 に設定してください。

キーボードショートカット

3D ゲームで使用できるキーボードショートカットの一部を以下に示します。

キー	説明	機能
<Ctrl> + <t>	ステレオスコピック 3D エフェクトを表示/非表示にする	3DTV Play をオン/オフにします。 **メモ：**3DTV Play が無効の場合も、HD 3D モードではゲームのパフォーマンスが低下します。パフォーマンスを最大にするには、3DTV Play が無効の場合、HD または SD モードを選択します。
<Ctrl> + <F4>	3D の深度を大きくする	リアルタイムでプレイ中のゲームの 3D 深度を大きくします。
<Ctrl> + <F3>	3D の深度を小さくする	リアルタイムでプレイ中のゲームの 3D 深度を小さくします。
<Ctrl> + <F11>		プレイ中のゲームの 3D スクリーンショットをキャプチャし、ファイルを**ドキュメント**フォルダ内のフォルダに保存します。ファイルを表示するには、NVIDIA 3D Photo Viewer を使用します。
<Ctrl> + <Alt> + <Insert>	ゲーム中の互換性メッセージを表示/非表示にする	現在のゲームについて NVIDIA が推奨する設定を表示します。
<Ctrl> + <F6>	コンバージェンスを上げる	オブジェクトを視聴者に向かって動かします。コンバージェンスを最大にすると、すべてのオブジェクトがシーンの最前列に配置されます。レーザーサイトを配置する場合にも使用します。
<Ctrl> + <F5>	コンバージェンスを下げる	オブジェクトを視聴者から遠ざけます。コンバージェンスを最小にすると、すべてのオブジェクトがシーンの最後列に配置されます。レーザーサイトを配置する場合にも使用します。

ショートカットキーのカスタマイズ

ショートカットキーをカスタマイズするには：

1. デスクトップを右クリックして、**NVIDIA コントロールパネル**を選択します。
2. **NVIDIAコントロールパネル**ウィンドウで、**ステレオスコピック3D**をクリックして選択範囲を広げ、続いて**キーボードショートカットのセットアップ**をクリックします。
3. 変更したいショートカットを示すボックスをクリックします。
4. 希望するキーの組み合わせを押します。
5. **OK** をクリックして保存し、終了します。

3D フォト

NVIDIA 3DTV Play アプリケーション付属の NVIDIA Photo Viewer を使用して、ステレオスコピック 3D フォトを表示することができます。フォトビューアでは、フォトの 3D エフェクトを編集することもできます。フォトビューアの使い方に関する詳細、および 3D フォトのダウンロードについては、**www.nvidia.com** を参照してください。

DellConnect

DellConnect

DellConnect は、デル担当者がお客様のコンピューターにアクセス（お客様の立会いの下）し、コンピューターの問題を診断し、解決するオンラインツールです。

DellConnect には次の 2 種類のモードがあります：

- 表示専用アクセス – お客様は、コンピューターのコントロールを維持します。デル担当者がお客様の画面をチェックし、指示を出します。
- キーボードとマウスへのフルアクセス – デル担当者がお客様のコンピューターをコントロールします。

DellConnect を使用する

以下の指示に従って、Dell エージェントに接続します。

1. **DellConnect.com** にアクセスします。
2. マップで自分の地域をクリックします。
3. リストで国またはエリアをクリックします。
4. Dell の担当者が正しいサポート問い合わせ先の番号を提供します。この番号をクリックすると、次のページに移動します。

キューセレクター番号	USA サポートキュー
1	コンシューマ
2	Dell on Call
3	XPS
4	関係
5	エンタープライズ
6	関係 GTS
7	Dell ビジネスサポート
8	プラチナサポート

5. DellConnect 条件ページで**同意します**をクリックします。

   メモ：条件には、DellConnect セッション中に発生する可能性のある事項が記載されています。不明な点がある場合は、代理店にお問い合わせください。

6. このページでサポート代理店から提供されたコードを入力します。
7. デル担当者から提供されたコードを指定のフィールドに入力し、**実行**をクリックします。
8. DellConnect アプレットをダウンロード後、インストールし、スクリーン共有アプリケーションを実行します。
9. アプレットをインストール後、DellConnect がユーザーの権限やファイアウォール設定をチェックします。
10. DellConnect がプロキシやファイアウォール設定を検出すると、Windows のユーザー名やパスワードを入力するダイアログが表示されます。

    メモ：チャットウィンドウを閉じるか、ファイル、次に終了をクリックすると、セッションを終了することができます。

オペレーティングシステムの復元

オペレーティングシステムの復元について – Windows 8

次のいずれかのオプションを使用して、コンピューターのオペレーティングシステムを復元できます。

オプション	用途
Dell Backup and Recovery	最初の対処法
システム復元メディア	• オペレーティングシステムの障害によって Dell Backup and Recovery を使用できない場合 • 新しく取り付けたハードドライブに出荷時のイメージをインストールする場合

Dell Backup and Recovery

Dell Backup and Recovery - Windows 8

△ **注意：Dell Backup and Recovery を使用すると、コンピューター購入後にインストールしたプログラムおよびドライバーがすべて削除されます。Dell Backup and Recovery を使用する前に、コンピューターにインストールする必要があるアプリケーションのバックアップメディアを作成します。**

△ **注意：Dell Backup and Recovery は、コンピューター上のデータファイルを保存するように設計されていますが、Dell Backup and Recovery を使用する前にデータファイルをバックアップすることをお勧めします。**

Dell Backup and Recovery には、2 つのバージョンがあります：

- Dell Backup and Recovery Basic
- Dell Backup and Recovery Professional

Dell Backup and Recovery

機能	基本	Professional
システムを出荷時設定に戻す	√	√
DVD または USB メディアにシステムリカバリディスクを作成する	√	√
過去に保存したポイントインタイム（時点）に復元する（ただし、ファイルとフォルダの手動でのバックアップが必要）	√	

Dell Backup and Recovery

機能	基本	Professional
ファイルとフォルダのバックアップを実行し、過去に保存したポイントインタイム（時点）に復元する		√
フルシステムバックアップを実行し、過去に保存したポイントインタイム（時点）に復元する		√
ファイルタイプ（mp3、jpgなど）に応じて、バックアップと復元を実行する		√
ローカルストレージデバイスにデータをバックアップする		√
自動スケジュール設定をバックアップする		√

Dell Backup and Recovery Basic – Windows 8

タスク	手順
Dell Backup and Recovery を起動するには	**1.** コンピューターの電源を入れます。 **2.** 画面の右端からスワイプして（またはマウスを使用している場合は、画面の右上隅をポイントし）、**チャーム**サイドバーを開き、続いて**検索**アイコン をクリックします。 **3. アプリ**画面で、**Dell Backup** and **Recovery** をクリックします。
システムリカバリディスクを作成するには、次の手順を実行します。	**1.** Dell Backup and Recovery を起動します。 **2. リカバリメディア**タイルをクリックします。 **3. USB フラッシュドライブ**またはディスクを選択し、続いて**続行**をクリックします。 **4.** 画面の指示に従います。
コンピューターを以前の日付、または出荷時設定に戻すには、以下の手順を実行します。	**1.** Dell Backup and Recovery を起動します。 **2. リカバリ**タイルをクリックします。 **3. システムリカバリ**をクリックします。 **4. はい、続行**をクリックします。 **5.** 画面の指示に従います。

Dell Backup and Recovery Professional – Windows 8

メモ：購入時に注文している場合は、コンピューターに Dell Backup and Recovery Professional がすでにインストールされている可能性があります。

タスク	手順
Dell Backup and Recovery Professional にアップグレードするには	1. Dell Backup and Recovery を起動します。 2. **今すぐアップグレード**をクリックします。
フルシステムバックアップを起動するには、次の手順を実行します。	1. Dell Backup and Recovery を起動します。 2. **バックアップ**タイルをクリックし、続いて**システムバックアップを選択します。** 3. 画面に表示される指示に従って、
ファイルとフォルダのローカルバックアップを起動するには、次の手順を実行します。	1. Dell Backup and Recovery を起動します。 2. **バックアップ**タイルをクリックし、続いて**データバックアップ**を選択します。 3. 画面の指示に従います。
フルシステムバックアップから特定のファイルまたはフォルダを復元するには、次の手順を実行します。	1. Dell Backup and Recovery を起動します。 2. **リカバリ**タイルをクリックし、続いて**データリカバリを選択します。** 3. **はい、続行**をクリックします。 4. 画面の指示に従います。
ファイルとフォルダのバックアップから特定のファイルまたはフォルダを復元するには、次の手順を実行します。	1. Dell Backup and Recovery を起動します。 2. **リカバリ**タイルをクリックし、続いて**データリカバリ**を選択します。 3. **はい、続行**をクリックします。 4. **復元するデータを選択**検索ボックスに、ファイルまたはフォルダの名前を入力します。 5. 画面の指示に従います。

システムリカバリディスク

システムリカバリディスク – Windows 8

Dell Backup and Recovery で作成したシステムリカバリディスクを使用すると、コンピューター上のデータファイルを維持しながら、ハードドライブをコンピューターの購入時の動作状態に戻すことができます。

次の場合に、システムリカバリディスクを使用します。

- オペレーティングシステムの障害によって、コンピューターにインストールされているリカバリオプションを使用できない。
- ハードドライブの障害によって、データを回復できない。

システムリカバリディスクを使用してコンピューターを復元する – Windows 8

システムリカバリディスクを使用してコンピューターを復元するには：

1. システムリカバリディスクまたは USB キーを挿入し、コンピューターの電源を入れます。
2. DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   メモ：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピューターをシャットダウンして、操作をやり直してください。

3. 起動デバイス一覧が表示されたら、挿入された起動デバイスをハイライト表示し、<Enter> を押します。
4. プロンプトが表示されたら、起動デバイスから任意のキーを押して起動します。
5. 画面の指示に従って、リカバリプロセスを完了します。

オペレーティングシステムの復元

次のいずれかのオプションを使用して、コンピューターのオペレーティングシステムを復元できます。

△ **注意：Dell Factory Image Restore またはオペレーティングシステムディスクを使用すると、コンピューターのデータがすべて永久に削除されてしまいます。できる限り、これらのオプションを使用する前にデータファイルをバックアップするようにしてください。**

オプション	用途
システムの復元	最初の対処法
Dell DataSafe Local Backup	システムの復元で問題が解決しない場合
システム復元メディア	オペレーティングシステムの障害によって、システムの復元と DataSafe Local Backup が使用できない場合 新しく取り付けたハードドライブに出荷時のイメージをインストールする場合
Dell Factory Image Restore	コンピューターを購入時の動作状態に復元する
オペレーティングシステムディスク	コンピューターにオペレーティングシステムのみを再インストールする

システムの復元

システムの復元について

システムの復元は、ドキュメントや写真、電子メールなどの個人ファイルには影響を与えることなく、ソフトウェアの変更を元に戻すことができる Microsoft Windows のツールです。

ソフトウェアまたはデバイスドライバーをインストールすると、新しいソフトウェアやデバイスをサポートするため、Windows システムファイルがアップデートされます。このアップデートにより、予期せぬエラーが発生する場合があります。システムの復元は、ソフトウェアやデバイスドライバーをインストールする前の状態に Windows システムファイルを戻します。

システムの復元は、定期的な間隔で復元ポイントを作成し、保存します。この復元ポイントを使用して（または、独自の復元ポイントを作成して）、コンピューターのシステムファイルを以前の正常な状態に戻します。

変更によってハードウェア、ソフトウェア、その他のシステム設定が変更され、コンピューターの状態が望ましくない場合、システムの復元を使用してください。

メモ：システムの復元は個人ファイルのバックアップを行いません。そのため、削除、または損傷を受けた個人ファイルを復元することはできません。

システムの復元を開始する

注意：システムの復元は、データファイルの変更を監視したり、データファイルを復元したりしません。

Windows 7 および Windows Vista の場合

1. **スタート** をクリックします。
2. 検索ボックスにシステムの復元と入力し、<Enter> を押します。

   メモ：ユーザーアカウント制御ウィンドウが表示される場合があります。お客様がコンピューターの管理者の場合は、**続行**をクリックします。管理者でない場合は、管理者に問い合わせて目的の操作を続行します。
3. **次へ**をクリックし、画面の指示に従います。

システムの復元を実行しても問題が解決しなかった場合は、最後に行ったシステムの復元を取り消すことができます。

最後のシステムの復元を取り消す

注意：データファイルは定期的にバックアップしてください。システムの復元は、データファイルへの変更の監視、またはデータファイルの回復は行いません。

メモ：最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

Windows 7 および Windows Vista の場合

1. スタート をクリックします。
2. 検索ボックスにシステムの復元と入力し、<Enter> を押します。
3. **最後のシステムの復元の取り消し**をクリックし、**次へ**をクリックし、画面の指示に従いします。

Dell DataSafe Local Backup

Dell DataSafe Local Backup について

△ **注意：Dell DataSafe Local Backup を使用すると、コンピューター購入後にインストールしたプログラムおよびドライバーがすべて削除されます。Dell DataSafe Local Backup を使用する前に、コンピューターにインストールする必要があるアプリケーションのバックアップメディアを用意してください。Dell DataSafe Local Backup は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。**

△ **注意：Dell Datasafe Local Backup はコンピューター上のデータファイルを維持するよう作られていますが、Dell DataSafe Local Backup を使用する前にデータファイルをバックアップすることをお勧めします。**

メモ：地域によっては、Dell DataSafe Local Backup が利用できない場合もあります。

メモ：お使いのコンピューターで Dell DataSafe Local Backup が使用できない場合は、Dell Factory Image Restore でオペレーティングシステムを復元します。

Dell DataSafe Local Backup には 2 種類のバージョンがあります：

- Dell DataSafe Local Backup Basic
- Dell DataSafe Local Backup Professional

Dell DataSafe Local Backup

機能	基本	Professional
システムを出荷時設定に戻す	はい	はい
DVD または USB メディアにシステムリカバリディスクを作成する	はい	はい
フルシステムバックアップを実行し、過去に保存したポイントインタイム（時点）に復元する	いいえ	はい
ファイルとフォルダのバックアップを実行し、過去に保存したポイントインタイム（時点）に復元する	いいえ	はい
ファイルタイプ（mp3、jpg など）に応じて、バックアップと復元を実行する	いいえ	はい
ローカルストレージデバイスにデータをバックアップする	いいえ	はい
自動スケジュール設定をバックアップする	いいえ	はい

Dell DataSafe Local Backup Basic

タスク	手順
Dell DataSafe Local Backup を起動するには、以下の手順を実行します。	**1.** コンピューターの電源を入れます。 **2. スタート** → **プログラム**→ **Dell DataSafe**→ **Dell DataSafe Local Backup** をクリックします。
システムリカバリディスクを作成するには、次の手順を実行します。	**1.** Dell DataSafe Local Backup を起動します。 **2. バックアップ**→ **リカバリディスクの作成**をクリックします。 **3.** 画面の指示に従います。
コンピューターを以前の日付、または出荷時設定に戻すには、以下の手順を実行します。	**1.** Dell DataSafe Local Backup を起動します。 **2. 復元**→ **システム全体を以前の日付、または出荷時設定に戻す**をクリックします。 **3.** 画面の指示に従います。

Dell DataSafe Local Backup Professional

メモ：購入時に注文している場合は、コンピューターに Dell DataSafe Local Backup Professional がすでにインストールされている可能性があります。

タスク	手順
Dell DataSafe Local Backup Professional にアップグレードするには、次の手順を実行します。	**1.** Dell DataSafe Local Backup を起動します。 **2. 今すぐアップグレード** をクリックします。
フルシステムバックアップを起動するには、次の手順を実行します。	**1.** Dell DataSafe Local Backup を起動します。 **2. バックアップ**→ **フルシステムバックアップ**をクリックします。 **3.** 画面の指示に従います。
ファイルとフォルダのローカルバックアップを起動するには、次の手順を実行します。	**1.** Dell DataSafe Local Backup を起動します。 **2. バックアップ**→ **ファイルとフォルダのローカルバックアップ**をクリックします。 **3.** 画面の指示に従います。

タスク	手順
フルシステムバックアップから特定のファイルまたはフォルダを復元するには、次の手順を実行します。	**1.** Dell DataSafe Local Backup を起動します。 **2.** **復元→ フルシステムバックアップから特定のファイルまたはフォルダを復元する**をクリックします。 **3.** 画面の指示に従います。
ファイルとフォルダのバックアップから特定のファイルまたはフォルダを復元するには、次の手順を実行します。	**1.** Dell DataSafe Local Backup を起動します。 **2.** **復元→ フルシステムバックアップから特定のファイルまたはフォルダを復元する**をクリックします。 **3.** 画面の指示に従います。

システムリカバリディスク

システムリカバリディスクについて

Dell DataSafe Local Backup で作成したシステムリカバリディスクを使用すると、コンピューター上のデータファイルを維持しながら、ハードドライブをコンピューターの購入時の動作状態に戻すことができます。

次の場合に、システムリカバリディスクを使用します。

- オペレーティングシステムの障害によって、コンピューターにインストールされているリカバリオプションを使用できない。
- ハードドライブの障害によって、データを回復できない。

システムリカバリディスクを使用してコンピューターを復元する

システムリカバリディスクを使用してコンピューターを復元するには：

1. システムリカバリディスクまたは USB キーを挿入し、コンピューターを再起動します。
2. DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   メモ：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピューターをシャットダウンして、操作をやり直してください。

3. 起動デバイスの一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW Drive** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
4. 任意のキーを押すと、オプティカルドライブから起動します。
5. 画面の指示に従って、リカバリプロセスを完了します。

Dell Factory Image Restore

Dell Factory Image Restore について

メモ：Dell Factory Image Restore は、国またはコンピューターによってはご利用になれない場合があります。

Dell Factory Image Restore は、お使いのオペレーティングシステムを復元するための最終手段としてのみ使用してください。このオプションを実行すると、お使いのハードドライブはコンピューターご購入時の状態に戻ります。コンピューターを受け取った後に追加したプログラムまたはファイル（データファイルを含む）は、すべてハードドライブから完全に削除されます。データファイルとは、文書、スプレッドシート、電子メールメッセージ、デジタル写真、音楽ファイルなどです。可能であれば、Factory Image Restore を使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。

Dell Factory Image Restore を起動する

注意：Dell Factory Image Restore を使用すると、ハードドライブ上のデータはすべて完全に削除され、コンピューターを受け取った後にインストールしたアプリケーションプログラムやドライバーもすべて削除されます。できる限り、このオプションを使用する前にデータをバックアップするようにしてください。Dell Factory Image Restore は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. DELL のロゴが表示されたら、<F8> を数回押して **Advanced Boot Options**（詳細ブートオプション）ウィンドウにアクセスします。

   メモ：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピューターをシャットダウンして、操作をやり直してください。
3. **Repair Your Computer**（コンピューターの修復）を選択します。**システム回復オプション**ウィンドウが表示されます。
4. キーボードレイアウトを選択し、**Next**（次へ）をクリックします。
5. 回復オプションにアクセスするには、ローカルユーザーとしてログオンします。コマンドプロンプトにアクセスするには、ユーザー名フィールドに administrator と入力し、続いて **OK** をクリックします。
6. **Dell Factory Image Restore** または **Dell Factory Tools**→ **Dell Factory Image Restore** を選択します（コンピューターの構成に応じて）。

7. **Next**（次へ）をクリックします。**Confirm Data Deletion**（データ削除の確認）画面が表示されます。

   メモ：Dell Factory Image Restore を続行しない場合は、**Cancel**（キャンセル）をクリックします。

8. ハードドライブの再フォーマット、およびシステムソフトウェアの工場出荷時の状態への復元の作業を続ける意思を確認するためのチェックボックスを選択し、続いて **Next**（次へ）をクリックします。復元処理が開始されます。復元処理が完了するまで 5 分以上かかる場合があります。

9. 復元の操作が終了したら、**Finish**（完了）をクリックしてコンピューターを再起動します。

オペレーティングシステムディスク

オペレーティングシステムディスクについて

注意：オペレーティングシステムディスクを使用すると、コンピューター上のデータファイルがすべて完全に削除されます。可能な場合は、オペレーティングシステムディスクを使用する前にデータファイルをバックアップしてください。

メモ：オペレーティングシステムディスクはオプションなので、出荷時にすべてのコンピューターに付属しているわけではありません。

オペレーティングシステムディスクを使用して、お使いのコンピューターにオペレーティングシステムをインストールまたは再インストールすることができます。

インストールプロセスには多少時間がかかる場合があります。オペレーティングシステムをインストールした後は、デバイスドライバー、ウィルス対策ソフト、その他のソフトウェアを再インストールしてください。

オペレーティングシステムディスクを使用してオペレーティングシステムを再インストールする

△ **注意：オペレーティングシステムディスクを使用してオペレーティングシステムを再インストールすると、コンピューター上のデータファイルがすべて完全に削除されます。できる限り、これらのオプションを使用する前にデータファイルをバックアップするようにしてください。**

オペレーティングシステムを再インストールするには：

1. オペレーティングシステムディスクを挿入して、コンピューターを再起動します。
2. DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   メモ：キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、続いてコンピューターをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

3. リストから適切な起動デバイスを選択し、<Enter> を押します。
4. 画面の指示に従います。

診断とトラブルシューティング

診断

PSA (Pre-Boot System Assessment)

PSA (Pre-Boot System Assessment) を使用して、各種ハードウェアの問題を診断することができます。PSA を呼び出すと、システム基板、キーボード、ディスプレイ、メモリ、ハードドライブなどのデバイスをテストします。

メモ：お使いのコンピューターでは PSA がサポートされていない場合があります。

PSA を呼び出す

1. コンピューターの電源を入れる、または再起動します。
2. Dell のロゴが表示されたら、<F12> を押して起動メニューにアクセスします。

   メモ：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピューターをシャットダウンして、操作をやり直してください。
3. メニューから **Diagnostics**（診断）を選択し、<Enter> を押します。
4. アセスメントの間は、画面に表示される質問に回答します。
   - コンポーネントの 1 つがテストに不合格の場合、コンピューターが停止し、ビープ音が鳴ります。アセスメントを停止してオペレーティングシステムを再起動するには、<n> を押します。次のテストを続けるには <y> を押します。障害のあるコンポーネントを再テストするには、<r> を押します。
   - PSA の間にエラーコードが表示されたら、エラーコードを書き留め、デルにご連絡ください。

   PSA が正常に完了したら、以下のメッセージが画面に表示されます：

   `"Do you want to run the remaining memory tests? This will take about 30 minutes or more. Do you want to continue? (Recommended)."`（残りのメモリテストを実行しますか? このテストは 30 分以上かかります。続行しますか?（推奨））

   メモリの問題がある場合は、<y> を押し、それ以外の場合は <n> を押して PSA テストを終了します。

   <n> を押すと、以下のメッセージが表示されます。

   `"Booting Dell Diagnostic Utility Partition. Press any key to continue."`（Dell Diagnostics（診断）ユーティリティのパーティションの起動中。続けるには任意のキーを押します。）
5. **Exit**（終了）を選択して、コンピューターを再起動します。

Enhanced PSA

ePSA (Enhanced Pre-Boot System Assessment) を使用して、各種ハードウェアの問題を診断することができます。ePSA は、システム基板、キーボード、ディスプレイ、メモリ、ハードドライブなどのデバイスをテストします。

メモ：お使いのコンピューターでは ePSA がサポートされていない場合があります。

ePSA ホーム画面は次の 3 つのエリアに分類されています：

- **Device Tree（デバイスツリー）**– ePSA ホーム画面の左側に表示されます。コンピューターに取り付けているデバイスをすべて表示し、デバイスを選択する場合に使用します。
- **Control（コントロール）**– ePSA ホーム画面の右下に表示されます。**全体テストモード**チェックボックスを選択すると、テストの内容が深くなり、時間も長くなります **Control**（コントロール）ウィンドウの左側には、テスト全体の完了度を示す完了バーがあります。選択したデバイスをテストするには、**Run Tests**（テストの実行）をクリックします。ePSA を終了してコンピューターを再起動するには、**Exit**（終了）をクリックします。
- **Status（ステータス）**– ePSA ホーム画面の右側に表示されます。

ステータスエリアには 4 つのタブがあります：

- **Configuration（構成）**– ePSA が管理するすべてのデバイスに関する詳細な構成とステータス情報が表示されます。
- **Results（結果）**– 実行されたテスト、アクティビティ、各テストの結果が表示されます。
- **System Health（システム状態）**–バッテリー、AC アダプター、ファンなどの状態を表示します。
- **Event Log（イベントログ）**– 全テストに関する詳細情報が提供されます。**Stat** 列には、テストの状態が表示されます。

ePSA を呼び出す

ePSA を呼び出すには：

1. コンピューターを再起動します。
2. Dell のロゴが表示されたら、<F12> を押して起動メニューにアクセスします。

   メモ：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。デスクトップが表示されたら、コンピューターをシャットダウンして、操作をやり直してください。
3. メニューから **Diagnostics**（診断）を選択し、<Enter> を押します。

4. アセスメントの間は、画面に表示される質問に回答します。

- コンポーネントの 1 つがテストに不合格になったら、ePSA がエラーメッセージを表示します。アセスメントを中止して ePSA ホーム画面に戻る場合は **No**（いいえ）を、次のテストに進む場合は **Yes**（はい）をクリックします。問題が検出されたコンポーネントを再テストする場合は **Retry**（再試行）を押します。
- ePSA テスト中にエラーコードが表示されたら、エラーコードを書き留め、デルにお問い合わせください。

ePSA が正常に完了すると、次のメッセージが表示されます：

"No problems have been found with this system so far. Do you want to run the remaining memory tests? This will take about 30 minutes or more. Do you want to continue? (Recommended)."（これまでのところシステムには問題は見つかりませんでした。残りのメモリテストを実行しますか? このテストは 30 分以上かかります。続行しますか?（推奨））

メモリの問題が発生している場合は **Yes**（はい）をクリックし、それ以外の場合は **No**（いいえ）を押します。

以下のメッセージが表示されます。"All tests passed."（すべてのテストに合格しました。）

ePSA がエラーとともに完了したら、以下のメッセージが画面に表示されます：

"Testing completed. One or more errors were detected."（テストが完了しました。1 つ以上のエラーが検出されました）

Status Window（ステータスウィンドウ）の **Event Log**（イベントログ）タブをクリックし、ePSA テスト中に発生したエラーを確認します。

5. **Exit**（終了）をクリックして、コンピューターを再起動します。

ビープコード

お使いのコンピューターの起動時に、エラーまたは問題が発生した場合、ビープ音が連続して鳴ることがあります。この連続したビープ音はビープコードと呼ばれ、問題を特定します。ビープ音が鳴った場合、ビープコードを書き留め、デルにお問い合わせください。以下の表に一般的なビープコードを記載します。

メモ：表に記載されている一部のビープコードは、お使いのコンピューターに適用されない場合があります。

ビープコード	考えられる問題
1 回	システム基板の障害の可能性（BIOS ROM チェックサム障害）
2 回	RAM が検出されない **メモ：**メモリモジュールをインストール、または交換した場合、正しく設置されているか確認してください。
3 回	システム基板の障害の可能性（チップセットエラー）
4 回	RAM 読み取り/書き込み障害
5 回	リアルタイムクロック障害
6 回	ビデオカードまたはチップの障害
7 回	プロセッサー障害 **メモ：**このビープコードは、Intel プロセッサーを搭載したコンピューターのみでサポートされています。
8 回	ディスプレイ障害

トラブルシューティング

デジタル画面が見づらい

- デスクトップ
- ノートパソコン

デスクトップ

1. 画面の解像度を調整します。詳細については、**ヘルプとサポート**を参照してください。
   - Windows 8

     画面の右端からスワイプし（またはポインターを右上隅に移動させ)、**検索**チャームをクリックします。検索ボックスにヘルプとサポートと入力し、<Enter> を押します。
   - Windows 7

     スタート → **ヘルプとサポート**をクリックします。
2. ファン、蛍光灯、ハロゲンランプなどの電子デバイスからディスプレイを離してください。
3. サブウーハーは必ずモニターから 60 cm 以上離してください。

4. 電源ケーブルを必ずモニターとコンセントに正しく接続してください。
5. ディスプレイビデオケーブルがコンピューターのコネクターに接続されていることを確認してください。

   メモ：お使いのコンピューターが統合および外付けビデオカードの両方をサポートしている場合、モニターを外付けビデオカードに接続してください。
6. アダプターを使って、モニターをコンピューターに接続している場合、アダプターがモニターとコンピューターに正しく接続されていることを確認してください。
7. ビデオケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れたりしていないかを確認してください。
8. 正常に動作するモニターが他にある場合は、コンピューターに接続してモニター自体に欠陥がないかどうかを判断します。
9. デルにお問い合わせください。ヘルプを参照し、デルに問い合わせるを参照してください。

ノートパソコン

1. 画面の解像度を調整します。詳細に関しては、
   - Windows 8

     画面の右端からスワイプし（またはポインターを右上隅に移動させ）、**検索**チャームをクリックします。検索ボックスにヘルプとサポートと入力し、<Enter> を押します。
   - Windows 7

     スタート → **ヘルプとサポート**をクリックします。
2. **support.dell.com** から最新ビデオドライバーをダウンロードし、インストールします。
3. ビルトイン自己テストを実行します：
   a. コンピューターの電源を切ります。
   b. <Fn> と電源ボタンを 10 秒から 15 秒間、長押しします。
   c. ディスプレイのビルトイン自己テストが開始されます。
   d. 画面の指示に従います。
4. それでも問題が解決しない場合、 デルにお問い合わせください 。

画面に何も表示されない、または画面が空白である

- デスクトップ
- ノートパソコン

デスクトップ

モニターの電源ライトが消灯している場合：

1. 電源ケーブルを必ずモニターとコンセントに接続してください。
2. モニターとコンピューターの両方が電力を受信し、電源が入っていることを確認してください。
3. モニターとコンピューターの両方が電力を受信していない場合、別のデバイスでコンセントが動作していることを確認してください。
4. コンピューターの電源ボタン/ライトがオンの場合、コンピューターとモニターの電源ケーブルを交換し、モニター電源ケーブルに欠陥がないかどうかを判断します。
5. デルにお問い合わせください。

モニター電源ライトがオンの場合：

1. コンピューターが電力を受信し、電源が入っていることを確認します。
2. コンピューターが電力を受信していない場合、モニターとコンピューターの電源ケーブルを交換し、電源ケーブルに欠陥がないかどうかを判断します。
3. コンピューターが電力を受信していない場合：
   a. ディスプレイの輝度を調整します。**support.dell.com/manuals** あるモニターのマニュアルを参照してください。
   b. モニタービデオケーブルがコンピューターのコネクターに接続されていることを確認してください。

      メモ：お使いのコンピューターが統合および外付けビデオカードの両方をサポートしている場合、モニターを外付けビデオカードに接続してください。

   c. アダプターまたは延長ケーブルを外し、モニターを直接コンピューターに接続します。
   d. コンピューターの診断ライトをチェックしてください。
4. デルにお問い合わせください。

ノートパソコン

1. <Fn> と キー、または <Fn> と キーを押して、ディスプレイの輝度を調整します。
2. <Fn> と を押して、デュアルディスプレイモードを切り替えます。
3. 外付けモニターに接続し、外付けモニターにディスプレイがあるか確認します。
4. デルにお問い合わせください。

キーボードが動作しない、検出されない、断続的に動作しない場合

- 外付けキーボード
- ノートパソコンのキーボード

外付けキーボード

1. キーボードがコンピューターにしっかりと接続されているか確認します。
2. コンピューターをシャットダウンして、キーボードをコンピューターから取り外します。
3. キーボードケーブルが損傷していないか、ほつれていないかを確認します。
4. ケーブルコネクターのピンが曲がったり、折れたりしていないか確認します。曲がったピンをまっすぐにします。
5. キーボードをコンピューターに取り付け直します。
6. ワイヤレスまたは Bluetooth キーボードを使用している場合は、バッテリーを取り付け直します。詳細については、Bluetooth キーボード付属のマニュアルを参照してください。
7. USB キーボードを使用している場合は、USB キーボードを別の USB コネクターに接続してみてください。
8. PS/2 キーボードを使用している場合は、キーボードを別の PS/2 マウスコネクターに接続してみてください。
9. 使用できるコンピューターが別にあれば、キーボードを接続してください。
10. 別のコンピューターまたはコネクターでキーボードが正常に動作する場合は、コンピューターまたはコネクターに問題があることになります。デルに連絡してサポートを受けてください。

ノートパソコンのキーボード

1. コンピューターをシャットダウンします。
2. コンピューターを再起動し、キーボードをテストします。
3. キーボードが動作しない場合：
   a. コンピューターをシャットダウンします。
   b. 外付けデバイスをすべて取り外します。
   c. キーボードをテストします。
4. 外付けデバイスをすべて取り外した状態で、キーボードが正常に動作する場合は、デバイスを 1 つずつ取り付け直し、どのデバイスに問題があるのかを特定します。
5. 特定のキーが動作しない、または固まって動かない場合は、コンピューターをシャットダウンし、圧縮エアスプレーを使って、注意しながらキーボードをクリーニングしてください。
6. キーボードの反応が変わるソフトウェアは無効にしてください。
7. それでもキーボードが動作しない場合は、デルにお問い合わせください。

BIOS

セットアップユーティリティ (BIOS)

△ **注意：コンピューターの操作に詳しい方以外は、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピュータが誤作動を起こす可能性があります。**

BIOS（セットアップユーティリティ）は、コンピューターの電源を入れると、最初に実行されるプログラムです。BIOS の主要な機能は、オペレーティングシステムを読み込み、起動させることです。コンピューターが起動すると、BIOS がビデオカード、キーボードとマウス、ハードディスク、オプティカルドライブ、その他のハードウェアなどのシステムデバイスを初期化し、識別します。

BIOS を使って、以下のことができます。

- お使いのコンピューターにハードウェアの追加、変更、または取り外しを行った後のシステム設定情報の変更
- ユーザーパスワードなどのユーザー選択可能なオプションの設定または変更
- 現在のメモリ容量の確認や、取り付けられたハードディスクドライブの種類の設定

セットアップユーティリティ (BIOS) を起動する

△ **注意：コンピューターの操作に詳しい方以外は、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。設定を誤ると、コンピューターが正しく動作しない、またはコンピューターに損傷を及ぼす可能性があります。**

メモ：セットアップユーティリティの設定を変更する前に、後で参照できるように、現在の設定を書き留めておくことをお勧めします。

1. コンピューターの電源を入れます（または再起動します）。
2. DELLのロゴが表示されたら、F2プロンプトが表示されるまで待ち、表示後すぐに <F2> を押します。

メモ：F2 プロンプトは、キーボードが初期化されたことを示しています。このプロンプトはすぐに現れ、短い間しか表示されません。プロンプトが表示されたら、すぐに <F2> を押してください。プロンプトが表示される前、または閉じた後に <F2> を押すと、キーストロークが失われます。キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。コンピューターをシャットダウンして操作をやり直してください。

セットアップユーティリティの画面

セットアップユーティリティ画面は、お使いのコンピューターの現在のまたは変更可能な設定情報を表示します。画面の情報は、オプションリスト、アクティブなオプションフィールド、およびキー操作という3つの領域に分割されています。

Menu（メニュー）– セットアップユーティリティウィンドウの上部に表示され、セットアップユーティリティオプションにアクセスできます。左右の矢印キーを押して移動します。**Menu**（メニュー）オプションがハイライト表示されたら、**Options List**（オプションリスト）にコンピューターで使用可能なオプションが一覧表示されます。

Options List（オプションリスト）– セットアップユーティリティウィンドウの左側に表示されます。このフィールドには、取り付けられたハードウェア、省電力機能、およびセキュリティ機能を含む、コンピューターの構成を定義するオプションが表示されます。

上下矢印キーを使用して、リストを上下にスクロールします。オプションをハイライト表示すると、そのオプションの現在の設定および利用可能な設定が **Options Field**（オプションフィールド）に表示されます。

Options Field（オプションフィールド）– **Options List**（オプションリスト）の右側に表示されます。**Options List**（オプションリスト）に表示された各オプションの情報を表示します。このフィールドでは、お使いのコンピューターに関する情報を表示することや、現在の設定を変更することができます。現在の設定を変更するには、<Enter> を押します。**Options List**（オプションリスト）に戻るには、<ESC> を押します。

メモ：**Options Field**（オプションフィールド）に表示されている設定には、変更できないものもあります。

Help（ヘルプ）– セットアップユーティリティの右側に表示されます。**Options List**（オプションリスト）で選択したオプションのヘルプ情報を表示します。

Key Functions（キー操作）– **Options Field**（オプションフィールド）の下に表示されます。アクティブなセットアップユーティリティフィールドのキーとその機能を一覧表示します。

現在の起動順序を変更する

デフォルトの起動デバイス以外のデバイスからコンピューターを起動するには、**起動デバイスメニュー**を使用します。コンピューターは選択した起動デバイスから 1 回のみ起動し、次回からはデフォルトのデバイスから起動します。**起動デバイスメニュー**を使用して起動するには：

1. オプティカルドライブから起動するには、起動可能メディアをドライブに挿入します。

   USB デバイスから起動する場合、USB デバイスをコンピューターに接続します。

   ネットワークから起動する場合、ネットワークケーブルをコンピューターに接続します。

2. コンピューターの電源を入れます（または再起動します）。

3. F2 = Setup（セットアップ）、F12 = Boot Menu（起動メニュー）が画面に表示されたら、<F12> を押します。

   メモ：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。次に、コンピューターをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

4. **起動デバイスメニュー**が表示されます。

5. 上向き/下向き矢印を押す、または起動デバイスの隣に表示されている数字を押し、起動したいデバイスを選択します。

   例えば、USB メモリキーから起動する場合は、**USB Flash Device**（USB フラッシュデバイス）をハイライト表示して <Enter> を押します。

メモ：起動するデバイスは起動可能である必要があります。デバイスのマニュアルを参照して、メディアが起動可能であるか確認してください。

起動順序の変更

1. セットアップユーティリティを起動します（セットアップユーティリティ (BIOS) を起動するを参照）。
2. 矢印キーを使って **Boot Device Configuration**（起動デバイス構成）メニューオプションをハイライト表示し、<Enter> を押してメニューにアクセスします。

   メモ：後で元に戻すこともできるように、現在の起動順序を書き留めておいてください。

3. デバイスのリスト内を移動するには、上下矢印キーを押します。
4. デバイスの起動優先順位を変更するには、プラス (+) またはマイナス (-) を押します。
5. 変更を保存してセットアップユーティリティを終了します。

BIOS のフラッシュ

アップデートが利用可能な場合やシステム基板を交換する場合に、BIOS のフラッシュが必要な場合があります。BIOS のフラッシュを実行するには、次の手順に従います。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. **support.dell.com/support/downloads** にアクセスします。
3. お使いのコンピューターに対応した BIOS アップデートファイルを選択します。

メモ：コンピューターのサービスタグを見つけてください。詳細に関しては、コンピュータに同梱されている『クイックスタートガイド』を参照してください。

コンピューターのサービスタグまたはエクスプレスサービスコードがある場合：

a. コンピューターのサービスタグまたはエクスプレスサービスコードを **Service Tag or Express Service Code**（サービスタグまたはエクスプレスサービスコード）フィールドに入力します。

b. Submit（送信）をクリックし、ステップ 4 に進みます。

コンピューターのサービスタグまたはエクスプレスサービスコードがない場合：

a. 次のオプションのいずれかを選択します。

- **Automatically detect my Service Tag for me（サービスタグを自動検出する）**
- **Choose from My Products and Services List（マイシステムおよびサービスリストから選択する）**
- **Choose from a list of all Dell products（すべてのデル製品のリストから選択する）**

b. **Continue**（続行）をクリックし、画面の指示に従います。

4. 選択した項目の一覧が画面に表示されます。**BIOS** をクリックします。
5. **Download Now**（今すぐダウンロードする）をクリックして、最新の BIOS ファイルをダウンロードします。
6. **Please select your download method below**（希望のダウンロード方法を以下から選択してください）ウィンドウで、**For Single File Download via Browser**（ブラウザ経由での単独ファイルのダウンロード）をクリックし、続いて **Download Now**（今すぐダウンロード）をクリックします。
7. **名前を付けて保存** ウィンドウで、お使いのコンピュータ上のファイルをダウンロードする場所を選択します。
8. **Download Complete**（ダウンロードの完了）ウィンドウが表示されたら、**Close**（閉じる）をクリックします。
9. BIOS アップデートファイルをダウンロードしたフォルダに移動します。フォルダにファイルのアイコンが表示され、そのファイルにはダウンロードした BIOS アップデートファイルと同じ名前が付いています。
10. BIOS アップデートファイルのアイコンをダブルクリックし、画面に表示される指示に従います。

ヘルプを参照し、デルに問い合わせる

ヘルプを参照し、デルに問い合わせる

デル製品またはサービスに関する情報が必要な場合、またはコンピューターの使用中に問題が発生した場合、セルフヘルプのリソースから任意のヘルプを表示するか、デルに問い合わせてデル担当者のヘルプを受けることができます。

セルフヘルプオプション

Windows ヘルプとサポートにアクセスする

Windows 8

画面の右端からスワイプし（またはポインターを右上隅に移動させ）、**検索**チャームをクリックします。検索ボックスにヘルプとサポートと入力し、<Enter> を押します。

Windows 7

スタート → **ヘルプとサポート**をクリックします。

Microsoft Windows オペレーティングシステムの詳細については、**www.microsoft.com** を参照してください。

Dell 製品およびサービスについては、次のウェブサイトをご覧ください。

- www.dell.com
- www.dell.com/ap（アジア / 太平洋地域のみ）
- www.dell.com/jp（日本）
- www.euro.dell.com（ヨーロッパ）
- www.dell.com/la（ラテンアメリカおよびカリブ海諸国）
- www.dell.ca（カナダ）

デルサポートウェブサイトでは、トラブルシューティングウィザード、ユーザーマニュアル、テクニカルヘルプブログにアクセスしたり、デルドライバーやソフトウェアのアップデートをダウンロードすることができます。デルサポートへのアクセスには、次の Web サイトおよび電子メールアドレスをご利用ください。

デルサポートサイト

- support.dell.com
- support.jp.dell.com（日本のみ）
- support.euro.dell.com（ヨーロッパ）
- supportapj.dell.com （アジア太平洋）

デルサポートの電子メールアドレス

- mobile_support@us.dell.com
- support@us.dell.com
- la-techsupport@dell.com（ラテンアメリカおよびカリブ海諸国）
- apsupport@dell.com（アジア太平洋地域）

デルのマーケティングおよびセールスの電子メールアドレス

- apmarketing@dell.com（アジア太平洋地域）
- sales_canada@dell.com（カナダのみ）

デルへのお問い合わせ

米国にお住まいの方は、800-WWW-DELL (800-999-3355) までお電話ください。

メモ：お使いのコンピューターがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。利用できる手段は国や製品により異なる場合があります。また、地域によっては一部のサービスがご利用できない場合もあります。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **www.dell.com/ContactDell** にアクセスします。
2. 国または地域を選択します。
3. 要件に合わせて、必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。
4. ご都合の良いデルへの問い合わせ方法を選択します。

参照資料

デルにお問い合わせになる前に

ご注文、またはお使いのコンピューターに関してお問い合わせする場合、迅速なサービスを提供するためにも、以下の手順を守ってください。

- コンピューターのサービスタグまたはエクスプレスサービスコードをご用意ください。
- 必ず次の Diagnostics（診断）チェックリストに記入してください。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピューターの電源を入れて、コンピューターの近くから電話をおかけください。キーボードからのコマンドの入力や、操作時に詳細情報を説明したり、コンピューター自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。
- Diagnostics（診断）チェックリスト：
  - 名前：
  - 日付：
  - 住所：
  - 電話番号：
  - サービスタグナンバー（コンピューター背面または底面のバーコードの番号）：
  - エクスプレスサービスコード：
  - 返品番号（デルのサポート技術者から提供された場合）：
  - オペレーティングシステムとバージョン：
  - コンピューターに接続しているデバイス：
  - インターネットに接続していますか？はい / いいえ
  - インターネット接続のタイプ：ワイヤレスブロードバンド/ケーブル/DSL/ダイヤルアップ
  - コンピューターのソフトウェアまたはハードウェアを最近変更しましたか：
  - エラーメッセージ、ビープコード、診断コード：
  - 問題の内容とこれまで実行したトラブルシューティング：

コンピューターメンテナンス

一般的なコンピューターのトラブルを防ぐには、以下のタスクを実行してください。

- コンピューターが電源に近いこと、換気のよい場所であること、そして、コンピューターを置く場所が水平であることを確認してください。
- 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。
- デルサポートセンターを活用して、コンピューターのチェックアップ、ドライブスペースの管理、データのバックアップと復元などの作業を実行できます。
- やわらかい乾いた布で定期的にコンピューターをクリーニングしてください。

  メモ：コンピューターを拭く場合は、水や溶剤を使用しないでください。

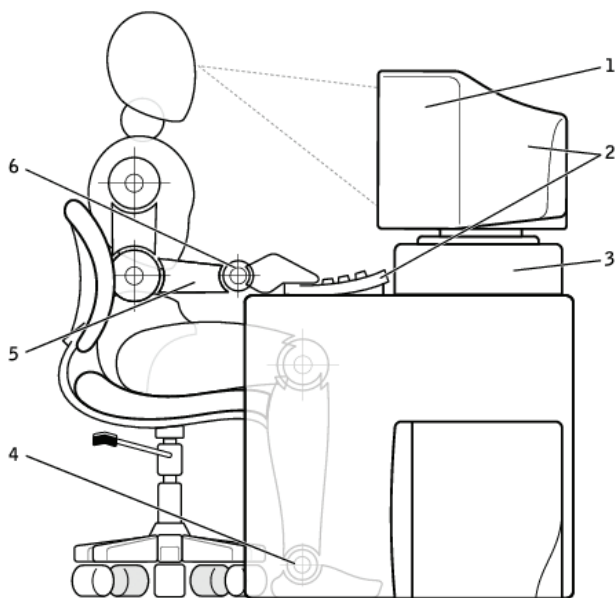
- ウィルススキャンを定期的に実行してください。
- 定期的にデータのバックアップを行ってください。
- Disk Defragmenter を定期的に実行し、コンピューターのパフォーマンスを向上させます。
- ハードドライブの空きスペースが十分あることを確認してください。使用できる空きスペースが不足すると、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- Windows やその他のソフトウェアアップデートを有効にすることにより、ソフトウェアバグを修正し、コンピューターのセキュリティを改善します。

デスクトップを快適にお使いいただくための注意事項

△ **注意：無理な姿勢で長時間キーボードを使用すると、身体に悪影響を及ぼす可能性があります。**

△ **注意：モニターの画面を長い時間見続けると、眼精疲労の原因となる場合があります。**

コンピューターを快適に効率よく使用するため、コンピューターの設置と使用に関して次のことにご注意ください。

- 作業時、モニターとキーボードが身体の正面にくるようコンピューターを配置します。キーボードの位置を調節できる専用の棚が販売されています。
- モニターを使用する場合、目が疲れないようにモニターとの距離を調整します（通常は 51 ～ 61 センチ）。
- モニターの正面に座ったときに、画面が目の高さかそれよりも少し下に来るように設置してください。
- モニターの角度、コントラスト、輝度、および周囲の照明（天井の照明、卓上ライト、周囲の窓にかかっているカーテンやブラインド）を調整し、モニター画面の反射を最小限に抑えます。
- しっかりとした背もたれの付いた椅子を使用します。
- キーボードやマウスを使用する際は、前腕部と手首を水平にし、リラックスした快適な位置に保ちます。
- キーボードやマウスを使用する際に、手を休めることができるスペースを確保します。
- 上腕部は身体の横に自然に下ろします。
- 足の裏を床につけ、太ももを床と平行にし、背筋を伸ばして座ります。
- 椅子に座っているときは、足の重さが椅子のシートではなく足の裏にかかるようにします。必要に応じて椅子の高さを調節したり足台を使用して、正しい姿勢を維持します。
- 作業に変化を持たせるように調整して、長時間のタイピングを避けます。また、タイピングしていないときはなるべく両手を使う作業を行うようにします。
- 机の下やその周辺は、座り心地を悪くしたりつまづいたりする恐れのあるケーブルや電源コードなどの障害物がないようにしてください。

1	モニターは目線より下に設置する	4	足の裏は床につける
2	モニターおよびキーボードは身体の正面に設置する	5	腕と机を同じ高さにする
3	モニタースタンド	6	手首はリラックスさせて水平にする

メモ：コンピューターを快適にお使いいただくための最新注意事項については、**www.dell.com/regulatory_compliance** を参照してください。

ノートパソコンを快適にお使いいただくための注意事項

△ **注意：**無理な姿勢で長時間キーボードを使用すると、身体に悪影響を及ぼす可能性があります。

△ **注意：**モニターの画面を長い時間見続けると、眼精疲労の原因となる場合があります。

ノートパソコンは、必ずしも事務機器としての継続的作業用には設計されていません。継続的にノートパソコンを使用する場合は、外付けキーボードに接続することをおすすめします。

コンピューターを快適に効率よく使用するため、コンピューターの設置と使用に関して次のことにご注意ください。

- 作業時に身体の正面にくるよう、コンピューターを配置します。
- コンピューターのディスプレイの角度、コントラスト、輝度、および周囲の照明（天井の照明、卓上ライト、周囲の窓にかかっているカーテンやブラインド）を調整し、ディスプレイの反射を最小限に抑えます。
- ノートパソコンに外付けモニターを接続する場合、モニターは適度に離して（通常は目から 45 ～ 60 cm）見やすい距離でお使いください。
- モニターの正面に座ったときに、画面が目の高さかそれよりも少し下に来るように設置してください。
- モニターの角度、コントラスト、輝度、および周囲の照明（天井の照明、卓上ライト、周囲の窓にかかっているカーテンやブラインド）を調整し、モニター画面の反射を最小限に抑えます。
- しっかりとした背もたれの付いた椅子を使用します。
- キーボード、タッチパッド、トラックスティック、または外付けマウスを使用する際は、前腕部と手首を水平にし、リラックスした快適な位置に保ちます。
- キーボード、タッチパッド、またはトラックスティックには必ずパームレストをお使いください。
- キーボードやマウスを使用する際に、手を休めることができるスペースを確保します。
- 上腕部は身体の横に自然に下ろします。
- 足の裏を床につけ、太ももを床と平行にし、背筋を伸ばして座ります。
- 椅子に座っているときは、足の重さが椅子のシートではなく足の裏にかかるようにします。必要に応じて椅子の高さを調節したり足台を使用して、正しい姿勢を維持します。
- 作業に変化を持たせるように調整して、長時間のタイピングを避けます。また、タイピングしていないときはなるべく両手を使う作業を行うようにします。

メモ：コンピューターを快適にお使いいただくための最新注意事項については、**www.dell.com/regulatory_compliance** を参照してください。

デルと環境

エコ（環境保護）とは制限ではなく、可能性を意味します。より良い方法を探すことです。

日常生活の中では、エコな選択をするチャンスはありますが、テクノロジーを選択する場合、コストやパフォーマンス、信頼性を犠牲にしたくはありません。お客様はその点で妥協するべきではない、とデルでは考えています。お客様や企業がエコのために何かを妥協しなくてすむように、デルが努力しているのはこのためです。

現実の環境問題に影響を及ぼす実用的な製品やサービスを届けることにより、これを実現しています。エコの核心にあるのは、より良い方法を実現するパワフルなアイディアだからです。賢く時間、コスト、そしてリソースを使う方法であり、賢く生活し、働き、この世界で成功を収める方法です。

竹製のエコフレンドリーなパッケージングソリューション

地球の天然資源を守る新しい方法を見つけるという人類共通の目標を達成するため、デルでは環境への影響を最小限に抑える、実用的かつ革新的なパッケージングソリューションを提供しています。パッケージが少なければ、お客様の負担も軽くなります。再生可能なパッケージにより、廃棄も簡素化されます。そして、持続可能な素材は地球にも優しいのです。

廃棄しやすさを考えたデルの竹製パッケージ材は、生物分解可能であり、Soil Control Lab（土壌管理研究所）により「堆肥化可能」の認定を受けています。現在、デルのネットブック、電話、大部分の Inspiron ネットブックに使用されており、2010 年発売の製品にも適用される予定です。

当然、責任ある素材調達に目配りするべきことも認識しています。デルの使用する竹はパンダの生息地から離れた場所で採取されています。

植樹プログラムに参加しませんか

デルでは「植樹プログラム」を企画し、お客様がコンピューター装置から放出される温室ガスを削減し、美しい地球を作るお手伝いをしています。1 台につき 1 本の木を植えようという試みです。

デルとリサイクル

コンピューターや電子部品をアップグレードする場合、デルでは各地の埋立地にデルのテクノロジーが廃棄されないよう努めています。デルの試みにご協力ください。ご家庭や職場のコンピューターをデルを通じてリサイクルすれば、スピーディで便利、しかも安全です。私たち、そして私たちの地球に良いことをしましょう。デルと力を合わせて、テクノロジーを責任持って廃棄しましょう。

法規制のコンプライアンスポリシー

Dell Inc.（デル）は、製品の出荷先の国の法律や規制を順守するべく、尽力しています。デル製品は、意図した目的に使用する場合、製品の安全性、EMC（電磁適合性）、人間工学、その他の法律規制要件の世界標準に適合するよう設計され、テストされています。

詳細については、法規制コンプライアンスのウェブサイトを参照してください。

法規制コンプライアンスのウェブサイトで詳細を確認する

製品の安全性、EMC、または人間工学に関して不明な点がある場合は、Regulatory_Compliance@dell.com まで電子メールでお問い合わせください。

追加コンプライアンス情報

WWTC (World Wide Trade Compliance Organization) は、製品分類を含む輸出入規制に対するデルのコンプライアンス管理を担当しています。デルの製造したシステムの分類データは、製品指定の Product Safety, EMC and Environmental Datasheet（製品安全、EMC、環境データシート）に記載されています。

デル製品の輸出入分類に関して不明な点がある場合は、US_Export_Classification@dell.com に電子メールでお問い合わせください。

移行のヒント

コンピューターの移行とは、2 台のコンピューター間でデータやアプリケーションを移動することを指します。コンピューターの移行が必要になる場合、新しいコンピューターの購入とコンピューターのアップグレードの 2 つの理由が挙げられます。

△ **注意：移行を合理化するユーティリティは数種類ありますが、ピクチャ、音楽、ドキュメントなどのファイルをバックアップしておくことを推奨します。**

旧バージョンのWindowsオペレーティングシステムからWindows7へ移行する

Windows Easy Transfer は Microsoft Windows を実行するコンピューターから別のコンピューターへファイルや設定を転送する場合、ステップ式のガイドを提供します。ユーザーアカウント、インターネットのお気に入り、電子メールなど新しいコンピューターに移動するデータを選択する場合に便利です。このユーティリティで、転送方法を選び、転送を実行することができます。

メモ：Windows Easy Transfer を使用するには、管理者権限のあるアカウントが必要です。

Windows Easy Transfer を開くには：

1. **スタート** をクリックします。
2. 検索ボックスに **Easy Transfer** と入力します。
3. 検索結果リストで **Windows Easy Transfer** をクリックします。
   Windows Easy Transfer ウィンドウが表示されます。

Windows Easy Transfer を使用して、以下の項目を転送することができます：

- ファイルとフォルダ
- 電子メールの設定、連絡先、およびメッセージ
- プログラム設定

  メモ：Windows Easy Transfer はプログラム自体を転送することはありません。ユーザー指定の設定のみ転送します。また、一部のプログラムは Windows 7 では動作しない場合があります。詳細については、プログラムのマニュアルを参照してください。

- デスクトップ背景、スクリーンセーバー、アクセシビリティオプションなどのユーザーアカウントと設定
- インターネットの設定とお気に入り
- 音楽

転送方法

コンピューターの構成に応じて、以下の転送方法からいずれかを使用します。

- **Easy Transfer ケーブル** – USB ポート経由で 2 台のコンピューターを接続するために作られた専用の Easy Transfer ケーブルが必要です。
- **ネットワーク**–2 台のコンピューターの間でネットワーク接続をセットアップし、両方のコンピューターが同じネットワークフォルダーまたは場所にアクセスできることを確認する必要があります。
- **USB フラッシュドライブまたは外付けハードドライブ** – 両方のコンピューターと互換性のある USB フラッシュドライブまたは外付けハードドライブが必要です。

電力の管理

電力管理は、各種コンポーネントへの電力供給を制限することにより、コンピューターの電力消費をカットします。特定のコンポーネントへの電力供給を減少、または停止する必要がある場合は、セットアップユーティリティとオペレーティングシステムで設定できます。

一般的な Microsoft Windows の省電力状態は以下の通りです：

- **スリープ** – スリープは、作業を再開したい場合は、すぐに（通常数秒）コンピューターをフル電力操作に戻すことのできる省電力状態です。コンピューターがスリープ状態に入るのは、DVD プレーヤーを一時停止にする操作に似ています。コンピューターは現在の操作を停止し、作業を再開したい場合は、すぐにスタートすることができます。
- **ハイバネーション** – ハイバネーションはノートパソコン用に設計された省電力状態です。スリープは作業や設定をメモリに一時保存し、消費電力量を抑えますが、ハイバネーションの場合は、開いているドキュメントやプログラムをハードディスクに保存し、コンピューターをオフにします。Windows の省電力状態の中で、最も電力消費が少ないのがハイバネーションモードです。ノートパソコンでは、長期間ノートパソコンを使用せず、その間、バッテリーを充電する機会がないことがわかっている場合は、ハイバネーションを使用してください。

- **ハイブリッドスリープ** – ハイブリッドスリープは、主にデスクトップコンピューター用に作られています。ハイブリッドスリープは、スリープとハイバネートを組み合わせたもので、開いているドキュメントとプログラムをメモリに保存し、すぐに作業を再開できるように、コンピューターを低電力状態に設定します。これにより、電源障害が発生した場合でも、Windows はハードディスクから作業内容を復元することができます。ハイブリッドスリープをオンにすると、コンピューターがスリープモードに入ると、自動的にハイブリッドスリープ状態になります。デスクトップコンピューターでは、ハイブリッドスリープは通常デフォルトでオンにされています。

電力設定の構成

電力設定を構成するには：

Windows 8

1. 画面の右端からスワイプし（マウスを使用している場合は、画面の右上隅をポイントし）、続いて**設定**をクリックします。
2. 検索ボックスに電源オプションと入力し、<Enter>を押します。
3. 使用可能なオプションのリストのプランから選択します。
4. 電力設定を修正するには、**プラン設定の変更**をクリックします。

Windows 7

1. **スタート** → **コントロールパネル**→ **電源オプション**をクリックします。
2. 使用可能なオプションのリストのプランから選択します。
3. 電力設定を修正するには、**プラン設定の変更**をクリックします。